京城日報

發行兼編輯人 奥田直
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

九月十六日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇聯軍ウ市進出説

莫斯科要電＝聯合軍はウオログダに進出せりとの説あるも未だ確ならずウオログダは依然過激派及び獨墺俘虜の勢力旺盛にして一説にはサマラに於て獨墺軍とチエツク軍と衝突しつゝありとの報あり尚アルハンゲルの聯合軍と中部チエツク軍との聯絡は容易に成功し難き形勢なりと（東京特電）

◇西伯利政府統一協議

莫斯科要電＝西伯利に於る聯合軍漸次西進するに從ひ西部及び中部西伯利政府聯絡の必要あるを以て孰れ西伯利政府のデルベル及びホルワット將軍等は西部地方に赴かんとする意嚮なかりしが今回オムスク政府のヴオロゴスキーは外相同伴西部チエツク軍司令官ガイド大佐と共に哈爾賓に來りデルベル及びホルワット將軍等と會見し西伯利各政府統一に關して協議を爲しそれより浦鹽に到り大谷司令官及び各國司令官と會見の筈なりと（東京特電）

◇過激派カザン占領

西伯利動員は引續き行はれ成績良好なり過激派はカザンを占領しれ伯利軍は同地より秩序整然として退却せりザラボールは過激派の手中より脱せり（イルクツク電報）

◇ホ將軍浦鹽到着

十二日ホルワット將軍はタスキン氏同伴來浦せり（浦鹽電報）

◇カール公芬蘭王指命

獨紙はフリードリッヒ、カール公を芬蘭王に指命せり（倫敦電報）

◇獨逸對芬蘭通告

獨逸政府は芬蘭に對し通告して曰く若し協商國軍にしてムルマンを撤退せば獨軍はカレリヤに進入せざる可しと（アムステルダム電報）

◇米軍ヒ線砲撃
サンミエール突角點占領

米軍はサンミエールの敵を全く掃蕩し確實に同地方の突角點を占領し今や更に同市を越江てヒンデンブルグ線に對し恐る可き砲撃を開始せり（共同通信電報）

◇聯合軍引續優勝

米軍は今や完全にサンミエール突角の側面を包圍し終り同方面に於て既に俘虜一萬二千を獲たり、一方英軍はオルノン森林に於て勝利を博し又佛軍はサヴイを占領せり（合同通信電報）

◇新戰鬪不日開始

獨紙の報道に據れば新なる戰鬪將に東部戰線に開始されんとしつゝあるは今や確實となれりと（アムステルダム電報）

◇米軍進出繼續

パーシング將軍の報告に曰く米軍は十二日サンミーエル地方に於て著しき進出をなし既に俘虜八千を得たり進撃は今尚繼續中なりと（倫敦電報）

◇獨逸の二重策略

獨逸は右手に講和を左手に戰爭を提げ二重の策略を用ひつゝあるが講和に關しては墺國外相ブリアンを通じて講和の探りを入れしめ戰爭に關しては露國過激派を驅りて聯合軍と闘はしめんとしつゝあり而して米國は戰爭遂行上聯合國と完全なる意思の合致を見居れるを以て墺國より如何なる提案あるも毛頭耳を藉さずと觀測さる（華盛頓電報）

◇佛軍戰線前進

佛軍はエーレット河線及びエーヌ河戰線ラオンの西方に於て二哩の前進を爲せり（巴里電報）

◇ブ將軍殺害説

ブルシロフ將軍は莫斯科に於て何者にか殺害されたりとの報あり（合同通信電報）

◇獨軍陣地撤退

伯林公報に曰く獨軍は夜陰に乘じ何等敵の妨碍を受けず全く突角陣地の撤退を完了し今や新なる戰線に據れりと（合同通信電報）

◇獨補助橋梁架設

ベルジッセ、ターゲブラット紙は報じて曰く今やリールの非戰鬪員は悉く同市を撤退しつゝあり又曰く獨軍はミユーズ河に於て補助橋梁を架しつゝあり蓋しこれミユーズ河橋梁破壞の準備なる事明かなり（合同通信電報）

◇徐世昌總統就任

徐世昌氏は十三日參議院議長梁士詒氏に對し愈々就任の決心を表示せるより十六日參衆兩院議長より徐氏に對し總統當選證書を交附すべしと（北京特電）

◇日銀利上内容

一、商業手形割引は日歩一錢六厘、國債以外のものを抵當とする貸越、國債以外のものを保證とする手形割引日歩一錢七厘以上

一、十円貸越及びコルレスポンデンス貸越利子日歩一錢九厘

一、國債を抵當とする貸付け利子及び國債を保證とする手形割引日歩一錢六厘以上

右は大正七年九月十六日より實施するものなり（東京特電）

◇戰時爲替調査委員會官制

戰時爲替調査委員會官制は十六日附を以て公布されたるが同時に委員には大藏省當局者金融業者貿易業者等多數任命さる（東京電報）

◇文官任用令と山縣公

山縣公が往年文官任用令を制定せし當時にありては天下の秀才多く官海に身を投じ會社銀行等に走る者は落武者の觀ありしが最近に至りては正反對の現象を呈し來れるより山縣公も此の點に就き大いに憂慮し其改正に意ありとさる公眤懇者は語れり（東京特電）

◇政友近畿大會

政友會近畿大會は和歌山市に於て開會の筈なりしも都合に依り豫定變更十月奈良市に於て開會の事に決定せり（東京特電）

◇法制改善期成同盟會
米價調節に就て

米價を恒久的に調節し農民利益の確保と國民生活の安定とを期するは刻下焦眉の急務なるが其の根本策は法制の改善にありとし米穀國營論を提げて蹶起したる青年辯護士團體法制改善期成同盟會にては十五日正午より丸の内永樂倶樂部に於て發會式を開き劈頭大塚茂馬氏國民全體の利益の爲め米穀國營の急務なるを論じ午後二時散會したるが同會は實行の第一着手として十七日午後六時より神田青年會館に於て演説會を開き大塚博士外數氏の演説あるべしと（東京特電）

◇長尾局長渡支

長尾鐵道院中部管理局長は十七日

◇前佛大使浦鹽行

前佛國大使ルニョー氏は十六日午後九時東京驛浦鹽に向ふ筈（東京特電）

◇鎭南浦電燈不許可

資本金廿萬圓を以て京城の鎭南浦の有志が其筋に設立認可申請中なりし鎭南浦電燈會社は九月十四日不許可の指令に接せり（鎭南浦特電）

◇松林面電燈申請

黃海道黃州郡松林面にては今回面收入增額の目的の下に三菱製鐵所に於ける電力の餘力分給を受け市内に電燈を供給すべく八月廿一日大塚面長は會社に梅野所長を訪ひ電力分給懇請の結果其承諾を得たるが經營費及び電燈据付けを三菱に於てなすべく九月十四日監督官廳たる黃州郡守に申請せるが早くば年内燈火の運びに至るべしと（鎭南浦特電）

◎政務總監午餐會

山縣政務總監は十六日午後零時半朝鮮ホテルに目下入京中の帝國大學名譽教授藥學博士丹波敬三、文學博士萩野由之、同田中義成の三氏並に神職講習會の爲め入京中の青戶、三東兩講師外數氏を招待し午餐會を催したるが總督府よりは宇佐美長官、關屋荻田兩局長、小田編輯課長及び芳賀總督府醫院長等出席せり

◎稅關鑑定官會議 第一日

稅關鑑定官會議第一日は既報の如く十六日午前總督府第一會議室に於て鈴木度支部長官總裁の下に開會したり

◎客年蔬菜作狀況

昨年蔬菜作中甘藷は生育中旱害を蒙り前年に比し作柄不良にして作付反別增加せるに拘らず收穫高減少し馬鈴薯は作柄不良なりしも作付反別の增加に依り增收を示し其の他蔬菜は何れも作柄良好なりしと作付反別の增加とに依り增收を見たり即ち甘藷は一千七百五十三萬五千九百七十八貫、馬鈴薯八千二百八十二萬九千五百二十四貫、蘿蔔一億一千九百四十四萬七千六百十八貫、白菜七千二百三十九萬七千五百十貫、甜瓜二千六百九十八萬二千三百七十三貫にして之を前年に比すれば甘藷は一割四分二厘の減收にして馬鈴薯は一割七分二厘、蘿蔔は一割三分六厘、白菜は一割三分、甜瓜は一割八分七厘の增收なりと

◎軍需局の任務に就て
軍需局長 原象一郎氏談

近時國際間の戰爭は啻に陸海軍人の力を使ふのみならず國民全般が軍需力の如何は戰爭の勝敗に至大の關係を有するものである、されば平時に於いて戰時に對する準備的設をして置かなければならぬ歐米交戰國が相競うて戰爭に必要なる物資力の準備に汲々として居る趨勢に鑑みて茲に其常設機關として設置せられたのが即ち軍需局である是は臨時國勢調査會などの協贊を經て出來たもので即ち軍需工業動員法の實行機關である、然らば此軍需工業動員の業務とは如何なるものかといへば此の業務たるや頗る廣汎なるものである、然し平時に在りては每年

▲一定の時期を劃して

工場、事業場、輸送機關、軍需品及び從業員等の調査をなし軍の需要に於る補給計畫を定め一朝有事の際は必ず其必要に應じ政府に於て通動員計畫と相俟つて豫め戰時之を管理し或は使用又は收用し若くば從業員の徵用をなすなど人と物とを問はず能く其全能力を擧げて軍需品補給の用に提供せしむるのである、然し我國現時の產業は其發達不充分であつて一朝有事の際に其全力を擧げても尚所用の軍需補給を完了するに足らぬ尤も產業が發展して居れば是等軍需局の要はないかも知れぬ現に此度の出兵に際しては何等軍需局として是に係はる要がないといふのは僅に二個師團や三箇師團位の出兵であるから各工場及び事業場との契約のみにて

▲其需要は充されると若

し大出兵としたならば此契約のみにては軍需補給を完了する事が出來ぬ、それは所謂產業發達が充分ならざる爲めである、そこで軍需產業個々の保護獎勵を策せねばならぬ、是れに就ての範圍程度は補給の緩急と他の產業との關係に鑑みて愼重なる考慮を要し今は其講究中である、又政府に於ても工場事業場を戰時軍需補給の爲め利用する場合には其經營者の損害を努めて輕微ならしむるの方策を講ぜねばならぬ、元來此軍需局なるものは例令ば暗礁の水面に露はれた尖端の樣なもので凡て各省の當然なしつゝある業務である其中心が軍需局となつてゐるのである、そこで是を

▲内閣内に設置

せられた譯であるが此事業たるや物資力の統一及び運用は社會經濟の消長並に國民の休戚に至大の影響を及ぼすものであるから官民合同の努力に依らなければならぬ、そこで別に軍需評議員を置いて豫め有事の際國力を統一して其の最善を竭さねばならぬ是れに就ては朝野の有識者を網羅して評議會なるものを開催する事となつてゐる所謂此評議員なるものは軍需工業動

◎未墾地及干潟地利用と耕地

木浦會議所提案

今期全鮮商業會議所聯合會に對する各會議所の提案は孰れも朝鮮に於ける商工產業の開發發展を期する上に於て屈竟の關係を有するものたるは屢報の通りなるが

▲直接農產增加に關する意見として木浦商業會議所の提出せる議案は棉業の發達と原棉の需要增進に對する原棉供給問題に鑑みて朝鮮產棉の增大を期し以て原棉を緩和調節すると同時に耕地を增大し出來得る限りの場所を耕地に

▲利用を勸奬するは國家經濟上最も緊要なる方策なりと信ずるの提唱せる所以は棉業の發達著大にして年一年原棉の需要增進し其の大部分を海外の供給に仰げる我國は原棉問題に附いて常に多大の危險と不安とを感ずること深甚なり故に棉作地たる朝鮮產棉の增大を期し以て原棉問題を緩和調節し加ふるに年々原棉輸入に據る正貨の國外流出を防止せんが爲め澁滯不便なる稻田と新墾地とを棉畑と爲し一面稻田の缺陷を補充して徐々米作の增收を圖り母國の食料調節に資せられむことを希望すといふにあり

▲相當補助せられむこと

を希望す朝鮮には未墾地及び干潟地として相當工事を施さしなば耕地に利用し得べき場所多大なるは世人周知の事實なり而も未墾地及び干潟地を耕地とせんには其の經費尚熟田を購ふの廉なるに如かず爲に資本家として之に染手するを躊躇する如き傾向あり故に當局は未墾地及び干潟地の耕作に利用し得べき場所を調査發表し之を確實に施工し利用せんとする者に對しては完成後相當利子の補給を爲すべく或は工事費に補助を與ふるが其他相當なる方法に依り其の利用し未墾地其他を開拓して一面田の缺陷を補充し米作の增收を圖り以て食糧問題を調節せん事を望むといふにあり即ち未墾地及び干潟地利用に關する意見を聞くに當局は未墾地及び干潟地を調查し該地利用工事を施さんとする者に對し

◎新設航路標識

本年の遞信海事事業に屬する航路標識の新設並に改造は目下何れも工事中にて莞魔角の竿燈をアガ燈に改むるもの釜山の鋸退島並に浮與末應堂嶼等何れも新設浮標の設備中にて十月までには竣工すべし

◎米情報局員入京

米國政府情報局員アーサー、ブラード氏は家族同伴浦鹽より京城に向ふ途次十五日夜南大門驛着入京十六日午前九時半總督府に長谷川總督並に久水外事課長を訪問す

◎鮮銀募株開始

朝鮮銀行新株三萬株の公募は十六日より内地朝鮮並に滿洲共一齊にこれを開始したるが朝鮮銀行本店にもボツ〳〵應募申込みあれど尚ほプレミヤムの氣配は見當たず應募者も狀勢觀望の模樣にありと

◎東拓貸出漸增

米を始め棉花大豆等の値上りを來せるため近時地方に於る資金の需要は著るしきものあり爲に各地の土地開墾灌漑水利の企劃續出せると東拓各出張所の金融方面活動著しく目立つ結果近來東拓の貸出は大いに增加し鮮内のみにて一千餘萬圓に達せしが尚果々鎭業方面に

◎耕地面積擴大
田畑面積七十四萬町歩增加

本年三月公刊の總督府統計年報によれば大正五年度末朝鮮の耕地面積は田百三十四萬零三百廿五町歩畑二百二十四萬九千百七十八町歩にて合計三百五十八萬九千五百零三町歩となり居れるが土地調査局の事業の進行に伴ひ田並に畑共に面積著るしく擴大せり乃ち新確定の耕地面積は田百五十四萬五千五百九十四町歩にして之れを從前に比し二十萬五千餘町歩の增加を來し一割五歩の增たり從つて朝鮮米收の數量調査に於て差なしとすれば、その一反歩當りの收穫約一石一升の調査は八斗臺に下る譯なり又一反歩當り收穫一石一升が動かざるものとすれば朝鮮米作一千二百萬石の計數は動き來るべし又畑の確定反別は二百七十九萬一千五百十町歩にして從來より五十四萬二千四百町歩乃ち二割五分の增加を來し居れり又田畑の合計は四百八十七萬一千零七十一町歩を算し七十四萬七千四百町歩の驚くべき擴大を示し居れり尚ほ右耕地以外垈、池沼、雜種地等を合せし面積は一千九百十萬七千五百二十町となる由

◎嘉納高師校長

東京高等師範學校長嘉納治五郎氏は來月二日頃來京講道館朝鮮支部開設式に臨席すべし

◎視學學事視察

入京中なる全道視學は十六日午前九時より上田視學官の案内にて京城中學校に赴き同校附屬小學校に於ける單級教授を見學せり

人事消息

▲板東義雄氏（警務總監部衛生課長）十六日附三週間の豫定を以て東京大阪へ出張を命ぜられ十七日出發の筈

▲清水武紀氏（土木局技師）十六日附二十一日間の豫定を以て東京大阪へ出張を命ぜらる

▲西川庄五郎氏（仁川稅關鑑定官）十五日夜入京不知火へ

▲山宮敎世軍大佐 十五日朝新義州へ

▲足立瀧二郎氏（十八銀行京城支店長）十五日東上

茶前酒後

◆北滿行動の我藤井枝隊の一隊は、更にネルチンスクに進入したりと。ネルチンスクは黑龍沿線の一都也。敵は東西腹背に、皇軍の壓迫を受く、彼等の凋落は、正に時間の問題となりたり。潰崩か、沒落か、壞滅か。彼等の行ひたる横暴の報酬は、やがて彼等の甘受すべき窮迫たり。

◆今日は日清戰役に於ける、平壤陷落の記念日也。我第五師團長野津道貫氏は、明治二十七年九月十五日、大膽なる作戰を以て、平壤を包圍し、直ちに總攻擊を開始せり。而して十六日即ち本日を以て、平壤を占領せり。敵の死者二千、捕虜六百九十、今日より之を見れば、其戰の小規模にして、語るに足らずとなすも、當時に於ては、實に大激戰なりし也。

◆今日の戰爭は、人力以外に、武器の戰爭也、發明品の戰爭也、黃金の戰爭也。一毫の機關銃なく、航空機なく、重砲なく、僅に小銃と、口徑砲を以て、唯一の武器となし、人力を以て、最上の兵力となした當時の戰爭が、如何に困難なりしかを察するに足ると共に、隔世の感なくんば非ず。

◆平壤の戰鬪は、實際に於て、日本軍の試驗戰なりし也。日本軍隊の整備以來、事實に於て、一個師團が、敵と砲火を交へしは、本戰爭が嚆矢なりし也。而して日本軍は本戰爭に於て、見事に及第せり、實に最上優等の成績を以て及第せし也。日本軍の勇猛は、其善績と共に發表せられたり。保證を與へられたり。

◆平壤戰に於て、日本軍の實力と其の眞價との現はれし以來、日本軍は常勝軍の名を贏ち得たる也。二十有五年後の今日に於いて、日本軍の武名が、地球上に赫々たるは、實に平壤戰の試驗に、優等を以て及第したるが、其一因たらずんば非ず。之と反對に、見事に落第したる支那軍は、遂に振はず、自慢なりし滿洲騎兵も、白馬隊も、今は昔語りの夢の如し。

砂金 石金 純金 銀 買 並 分析
京城旭町二丁目六番地
宮内地金商

船長雇入
丙種運轉士 貳名
内種運轉士ノ免狀ヲ有シ二級帆船乘組船長ニ經驗アルモノ
給料七拾圓以上ヲ仕給ス赴任旅費雇主ヨリ仕給ス
右雇入ス志望ノ方ハ履歴書ヲ添ヘ申込アリタシ
安東縣四番通り四丁目
大二商會 船舶部

趣味ある株式
公債株式現物問屋 信託
▼上海取引所株式＝趣味ある株式として弊商會調査部より御得意各位に御推薦申上候多大の御用命を賜り候上海取引所株は愈々十月一日を以て開業の氣運に至り頃日高騰を重ね目下五十八圓位に御座候得共開業後は尚一段の高値も可有之と存じ候得ば一刻も早く御下命を賜り度
◎上海取引所株十二圓半拂込時價五十八圓
◎株式日報御申越次第御送可仕候
京城永樂町二丁目 電話壹四九八番

内科 小兒科 入院隨意
京城旭町一丁目（電話九六二番）
小林醫院
院長 醫學士 小林千次
副院長 東北醫學士 戸川武
永登浦分院長 醫師 久保廣吉

成金 かんらた
敗者 かんらた
其の分岐点は株式賣買の巧拙に有り
弊店調査部は最も有利にして確實なる株式を御推奨にて御通報可致候
東京市日本橋區坂本町十八番地
公債株式現物問屋
合資會社 春中株式店
電話浪花九三九番

京城本町一丁目江戸川横
岡本齒科醫院

賣船廣告
一、參級團平形帆船 九拾噸積 貳艘
一、貳級 同 形帆船 百二十噸積 百五十噸積 貳艘
新造船ニシテ船具其他附屬品付
右賣船ス御希望ノ御方ハ左記ヘ御照會相成度候
朝鮮新義州鴨川町
造船業 製材業 中村柳吉
尚造船及製材ノ御注文ニ應ズ

外科 花柳病
内科 婦人病
入院隨意
京城本町五丁目稻荷座前
電話二〇二二番
大和病院

☆石炭車上の兵士と記者團（〆印は殺された過激派兵）

西伯利從軍記

▽銃殺された過激派兵

汽罐車の石炭の上で軍法會議 徽章の痕が何よりの證據

從軍記者 金谷眞

われわれは戰場から二コリスクに引返す途中、鐵道の石炭車上に圖つて顔も手も眞黒になつた後の列車には後送される病兵が乗つてゐる。柵の上には死者の遺骨も安置されてあると聞いた、八月廿四日の戰鬪のあつたクラエフスキー驛では約五時間以上も停車した、颯々たるドホヴスコエの戰場を過ぎる頃には

遂に紅い夕日が

興凱湖畔の平野に沈みつゝあつた、低い丘陵の白樺の林には吾聯隊のお寺の屋根が見ゆる『露が[illegible]りますゝ中空に……』と[illegible]の野は暮れ迫つた、此時白[illegible]等の石炭車の上にはシマコフカから乘つた露西亞兵とチェック兵とセルビヤ兵があつた、他の兵は一緒になつて談笑を交しあつて居るのに、その中の一人の仲間はづれの兵士は獨り黙然と打ちしほれてゐる、汽車が巻煙の如き秋草の野を進行しつゝある間

仲間はづれの

一人は突然露西亞兵から石炭の中に起たせられた『お前は過激派の兵だ』と一人がいふ『否!!』と彼は一生懸命になつて打ち消した『しかしお前のその帽子の徽章は何うした』[illegible]遁ない』あはれ、天なる哉命なる哉、過激派の兵はわづかに帽子の徽章の痕の爲めに發見された、その中にスウヤギナ驛についた時また一人の過激兵が乗つた、この男はまた徽章のあとよりもモット

有力な證人で

あつた『此男は過激派です、彼れの兄も確かに過激派兵でした』と證人は叫んだ、憫然たる兵士は直ちに下に引降ろされた、われ等は此の車上の軍法會議を眼の當りにした『あれが過激派かフウム……』と感服してゐる間に汽車は進んだ、翌朝スパスカヤの驛で驕慢なセルビヤ兵に會つたから『昨夜の過激派はどうした』と訊いたら『あの

驛ですぐ銃殺

した』と言ひ放ちつゝ笑つて往つた、寫眞は汽罐車上の從軍記者と日本兵士×の男は銃殺された男……汽車は今ドホヴスコエの秋野を走つてゐる（九月二日スパスカヤにて）

◎暗殺陰謀者銃殺さる

露都で七十三名 執行者は支那人

[illegible]へらる、聞に依ればペトログラードに於いて兵營官憲の暗殺を企てたる七十三名の嫌疑者は銃殺されたり死刑執行者は支那人[illegible]なりと（合同通信電報）

◎雨を冒して○○隊

○○日午前九時から第○○旅○○の○○○○隊○○市の○○隊の上陸が始まった當日は一[illegible]の[illegible]波[illegible]で[illegible]の○○隊の上陸は[illegible]

△波浪高く 陸揚の困難は一方ならず見るも氣の毒な有様[illegible]く上陸を終へた一部隊は同地島[illegible]及び軍需品の

△軍衛の任 に當らねば[illegible]

『嚙かしお辛い事でせう』と云ふを聞いて居ました雨は構はぬが風の強いのは閉口した、[illegible]兵士は『活に矢ひ作り『ナーニ濡れぬ先『それを眼へですが』[illegible]を擲ける時など波浪の爲め[illegible]

△朝飯抜で せうよ』[illegible]の意氣がつくこそ[illegible]は萬歳[illegible]入城の手等を感謝せずには[illegible]

十四日十二錢と八錢高に寄付たるも買物多くヂリヂリ六錢と押し[illegible]の裡に頭重き成[illegible]を示し[illegible]

◎内地風水害

九州、四國、中國、關東に及ぶ 岡山縣下最も甚だし

沖繩東部より襲來せる颶風の影響

本月六日沖繩列島の南方に現はれたる颶風は十二日少しく北進の模樣を現し十三日更に北方に進行して大阪附近に接近せしが一方朝鮮北部にありし高氣壓の東移と共に右颶風は自ら北進を妨げられ十四日著しく偏して九州南方より本州を掠め太平洋岸方面に逸走したる爲め九州を首め中國四國關東方面は漸次暴風雨を催し各地を通じて被害尠からず其の狀況に慘憺たるものあり

▽東京市 徹宵警戒す

東京地方に於ては十四日午後六時頃より斷續的に大雨あり其の霽れたる際は星を見る程なりしが午後十一時頃より南西の風吹き荒れ雨漸く其勢ひを強め十五日午前三時半に至り風雨最も猛烈となり風速十六米突雨量十五粍を示したるが午前四時頃より次第に勢ひを減じ午前十時に至り全く霽れたり十四日夜水上警察署にては一番巡查を召集し八重洲及び警視廳機動隊に出動準備を命じ本所深川日本橋、橘、洲崎、隅田川沿岸、品川附近、大森方面にては警戒に從事し淺草公園にては活動寫眞館、劇場等板を外して休業せしが幸ひに大なる被害なき模樣にて只本所附近に多少浸水家屋ありしに過ぎず詳細は目下調査中なり（東京特電）

▽香川縣 人畜被害あり

十五日午前十時香川縣知事より内務省着電＝十四日午前十時頃より風雨激しく出水甚しき爲め汽車電線不通となり交通杜絶の個所多く家屋田畑の浸水堤防道路の破壞多く人畜被害免れざる見込にて警察官消防組員出動警戒を行ひ土木吏員と共に消防組其他を督勵し警戒に努めつゝあり（東京特電）

▽鳥取縣 倫増水の見込

十四日午後二時四十五分鳥取縣知事より内務省着電＝十三日來豪雨の爲各河川増水し山嶽崩壞し橋梁田畑浸水夥しく雨未だ止まず益増水の虞ありて警戒中（東京特電）

▽列車不通

十五日鐵道院着電＝十四日午後城崎、久谷、濱坂、赤崎間、御來屋、米子間は浸水の爲め鐵道線路破壞し列車不通となれるが水勢衰へず目下徒歩聯絡中にして修理の見込み立たず

▽市中は泥海 鳥取市の慘狀

鳥取縣伯耆國東伯郡倉吉町同西伯郡米子町は共に浸水甚だしく鳥取市中は殆ど泥の海となり慘狀を極めつゝあり（大阪特電）

▽岡山市 危險に瀕す

今回の風水害は岡山縣下最も被害甚大にして旭川の水勢激しく殊に上道郡[illegible]の水勢しきに至れり岡山市は頗る危險に瀕し居れり耕地、家屋、道路、堤防の決潰せるもの尠からず橋梁の流失は十四箇所の多きに達し[illegible]勝山町は約[illegible]路上浸水五尺以上に達し交通途絶し物的被害九十萬圓 農作物被害高約八十萬圓倉庫[illegible]七十萬圓に達すべしと（岡山特電）

▽廿年來の大出水!!!

岡山縣にては十四日颶風の爲め各河川増水し旭川上流勝山附近にては一丈二尺に達し明治廿六年以來の大洪水なり岡山市は十五日午前二時に於て水量二丈二尺に達する模樣なり警察署並に市民一般警戒中なり避難者及び他の浸水家屋三十餘に達し刻々増水しつゝあり（岡山特電）

▽南九州

▲後佐伯の番匠川氾濫し田畑の被害多大なり（大分電報）
▲南九州亦暴風雨に襲はれ宮崎縣大隅線に崩潰箇所あり（宮崎電報）

◎起訴二萬五千に達す

各地に於ける米騷擾の犯人

司法省に達したる報告に據れば各地米騷擾事件にて起訴されたるもの十四日迄に二萬五千名に達せるが猶ほ西方面には斷續[illegible]の者多しと（東京特電）

◎交換手の總動員

大火當夜の電話局……

十五日夜永樂町大火の際京城局の電話は頗る繁劇を極め電流の使用の多かつたことは空前であつた、即ち平素日中の最も

▽忙しい時 と雖も七十五アムペア内外であるのに此時は示針計が俄然百十五アムペアと言ふ高點を示したのには驚かされた之を過去の記録に徵するに昨年の十一月晦日は百アムペアに上り、本年の丑の日には鰻、註文のため百アムペアに上つた事が五回先月二十九日

▽米價騰 の際は百十二アムペアに上つたが今回の如く百十五アムペアに上つたまゝ暫く此の間示針計が動かなかつたことは本局始まつて以來の事である、從つて交換室は海、と暴風に襲はれたやうな騷ぎであつたが殊勝にも聞いて駈つけた交換手が

▽五六十名 もあつたのは何よりも嬉しかつた、當夜加入者の家から郵便局の手で取外して持出した電話機は十八個内十一個は即時取付七個は翌日取付け直ちに復舊せしめた加入者の家屋の燒失したものが三戶あつたが

▽電話機は 一個も燒失せしめなかつたのは幸ひであつた（電話局談）

◎御用船 輻輳

釜山埠頭 精兵街に溢る

三艘の御用船の精兵は去る八日より十日に亘り上陸北行中なるが十四日にも風波の爲め六連島に避難し居れる御用船一時に入港し先づ○○○○○○隊を上陸せしめ引續き○○丸其の外二隻の御用船入港したる爲め釜山市街の旅館は云ふ迄もなく各町各戶共精兵を以て充たされ緊張した港民の氣分は層一層活氣を帶び來れり何んでも此上陸にて第[illegible]師團の輸送は略[illegible]了するものと云へられ港民の[illegible]

❖永樂町大火の跡

◎跡始末が充分でなかつたか

永樂町大火の原因 損害は全部で五萬圓位

十六日附本紙所報十五日夜京城永樂町二丁目に於ける大火に就いて其の後詳細取調べの結果全燒したるは日本家屋五棟、朝鮮式瓦葺四棟、同草葺十棟、一棟半燒二戶にして建坪約二百坪にして之れが住者は多く内地人にて不燒十六戶なり

▲發火の原因 に就いては所轄本町警察署にて取調べの結果永樂町二丁目八十一番地大久保[illegible]方にて家は同人[illegible]二人暮しにて當夜は夕刻七時宅にて夕飯を炊したる[illegible]

▲多分火氣の 跡始末が不充分なりし爲め終に斯の如き大事に及びたるものならんと同人は目下本町署に留置取調中なるが損害は約三萬圓乃至五萬圓見當なるが如く[illegible]保險に加入し居る向きもある模樣なり

▲類燒の厄に 遭ひたるは左の如し

永同二丁目八十一番地 大久保[illegible]右衞門 ▲八十二番地 杉本[illegible]▲[illegible]岩崎[illegible]▲八十八番地 村本[illegible]▲七十八番地[illegible]▲[illegible]久保田[illegible]▲[illegible]岸本[illegible]▲[illegible]大下[illegible]▲八十[illegible]七[illegible]番地[illegible]

◎チェック兵

是から交渉 交渉員來鮮

元山驛へ眼疾病院長マンスフヒールド氏は例のチェック病兵[illegible]港の[illegible]丸にて浦鹽より着るか右は目下元山港に於けるチェックの病兵

▽五百名を 收容しつゝある[illegible]の[illegible]に依れば目下[illegible]に於て[illegible]

▽平壤丸にて 送還する[illegible]

▽氣永く 解決を爲さむ[illegible]

◎御用船更に入港す

○○日更に御用船○○丸釜山に入港す市中は往來頻繁となり殊に[illegible]

◎阿片大密輸

十四日[illegible]より入港せる平壤丸にて元山に到着したる支那苦力同乗合計十三名の密輸入者あるを發見したるが今回は從來と異なり大々的密輸の目的にて隱匿の方法も極めて巧妙なるは勿論所持し居る物も少からず殊に奇抜なるは[illegible]に捻り込たる者、靴の底革を全部阿片にて作り其上に油紙を貼り一見鞄と變らざるが如き手段に出でたる者等にして其額目も一人にて百十匁を所持せし者も少からざる模樣なり警察當局は秘密に於て大々取調の末告發せられたり

〈女學校の廢物利用展覧會

念入りの物が多い

京城高等女學校では十六日階上に於て廢物利用展覧會を催したが集まつた廢物利用品は[illegible]輪の手袋や帽やペン先の茶[illegible]敗ボール紙の草履、小切の座布團など別段變つた程の創作はないが、念の入つたものが多く物價騰貴の今日中流家庭に取つて有益な參考品ともなるであらう今回は一般の觀覽に供せず後日再び展覧會を催して觀覽に供すべしと

◎海軍兵學校大擴張

來年度より生徒三百名採用

海軍兵學校にては將來の海軍大擴張に備ふる爲め從來百名なりし入校者を本年より百八十名に增加せるが來年度より一躍

◇三倍なる 三百名の生徒を增員採用するに決し近く試驗の施行せらるべく之が爲め現在の校舍狹隘に付五十萬圓を投じ第二講堂石造二階建（三百坪）第二生徒館石造二階建（四百坪）及び食堂其他

◇各校舍の 擴張に伴なふ移轉改造を決行すべく既に見積課の出張所を設置し工事に取掛りたるが來年十二月迄に完成の豫定なりと

◎瓜哇に日本村

雄圖を抱いて元滋賀縣廳長濱農學校教諭たりし[illegible]荒木貞一氏は瓜哇に日本村[illegible]設の大雄圖を懷き十五日神戶に航海の途に就けり（神戶電報）

◎日本末仁人の篤志 京城本町四丁目故田中商店主遺族田中ヤス子より金十五[illegible]佛教、浩[illegible]寄附申込ありたり

謎名文よ（一等には五十錢進呈）

◇物は何『光るものは』

◎破れた軍旗（一等） 本町二丁目京城銀行内 茂呂 繁
▲西伯利頭の日本刀 京城 紅い鳥
▲陸隊の帽 寺洞 鷗外生
▲湯上りの尻 京城 千代女
▲波紋に躍る魚 平北 閑雲生
▲日本の國威 京城 長作

◎傷病兵は小倉へ

軍醫に扶けられ乍ら大元氣 遠山歩兵中尉當時を語る

先發[illegible]第一回病兵百四十名（内將校二名同下士官二名）は[illegible]野戰[illegible]以下多數の看護手に擁られ筑前[illegible]にて十四日午前十時門司に入港の豫定なりしが暴風雨の爲め豫定時刻に遲れ午後一時入港一同は軍官民多數の出迎へを受け[illegible]四時[illegible]の發列車にて小倉衞戍病院に移送せられたり遠山歩兵中尉の談に依れば二十七日敵をシドフトスコエに追撃し森林を距る二百米突の地點に達したるとき敵彈飛び來りて軍刀を碎き餘勢を以て左胸部に命中せりと一行は元氣頗る旺んなり（門司電報）

天氣 一時曇

演藝案内

壽座 本町三丁目 電話五七八番 女優劇 ▲喜劇連鎖[illegible] 九月十六日より[illegible]

大正館 本町三丁目 電話[illegible] ◎新劇[illegible]僕金助 全三卷 ◎連續大活劇秘密の王國

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 ◎新派大悲劇七色指輪 全四卷

有樂館 活動寫眞常設館 ◎人情劇旅の女 全五卷 ◎活劇ハーリの逃れ 全三卷

黄金館 電話二六二番 ◎白萬弗の秘密 ◎花咲く家 全三卷 ◎道中膝栗毛 ◎人情活劇眞心 全三卷 ◎家なき兒 全二卷 ◎最後の猿飛

一番よくきく マラリア特効丸 龍山水野房製劑 本舖 京城本町 林藥房

謹告近火御見舞 昨夜近火の際は早速御見舞被下難有奉深謝候 取込中乍略儀以紙上御禮申上候 京城黄金町一丁目 首藤支店

下痢 腹痛に 健胃固腸丸 直ぐ止り 氣持良く 腸胃を强健にす 本舖 大阪 谷田春生堂

男女 最善治療 滋強丸

謹告近火御見舞 京城永樂町二丁目 立花米穀店

謹告近火御見舞 米井商店 京城出張所

…見るも氣の毒な　暗夜雨中の歩哨　…に掛けされたが朝來の風雨は…雨中に斯く島の聲とのみ高い、…一歩哨に…△寒暑風雨…でしたナ…戰地へ行つたらこれ位な事は…

◎虎口を逃れて
歸來せし東本願寺布敎師談
具さに語る西伯利獄中の苦心談

過激派軍の爲めボルザヤ附近にて卜布敎師と共に捕縛されイルクツクへ押送され獄で自由に飲み獄中生活に不安と艱苦とに他しい日を送つてゐた阿部布敎師が、イルクツク引揚げの移民一行に加はり滿洲里通過で無事哈爾賓に到着したので記者は早速東本願寺に旅装を解いた阿部師を見ま勞々訪問に出掛けた。（哈爾賓近藤生）阿部布敎師は今や不安も辛苦も無い境涯に歸つたので、これまで不安と恐怖に緊張し切つてゐた心持も一時に弛んだせいか、其の動作にも可なりな疲勞の色さへ其の容子に認める事が出來た、聞けば流石は宗敎家で修養し至まで運命を委れてゐる人だけあつて獄中にゐる間は經文を誦したりなごして專心修養に心を盡してゐたので苦痛を減ずる事も出來たよし殊に規則正しい食事の爲に獄中にゐる間は却つて普通の時よりは體量も增してゐた位、あつたが、扨て默してみると

今まで靜寂と瞑想に慣れたる

神經は恰も走馬燈のやうに目眩く遷り變る世間の有樣に堪へ兼ねて、神經の衰弱を來して大分體量も減じたと云ふ事である。師は語る『私が囚はれの身となつたのは四月十日の暮方で、上納布敎使と二人、支那馬車に搖られ未だ寒い胡砂吹く風に吹かれながらボルジヤの北方八露里の手前に來ると三十餘名の獨墺俘虜の乘馬隊に遭遇したのでした。此の一隊は何かに何か求めてゐるらしい容子で至急速力で馬を走らせて來ましたが直ちに自分達を怪しい者と見て取り二人の騎兵に命じてボルジヤの本營へ送らせたのでした。此の捕へられたのは私達兩名の者と馭者及び一人の支那人の都合四名でした。ボルジヤに到着すると直ちに某の一寄宿舍に打ち込まれました。恰ど其時此待合室には數名の獨墺俘虜が額を蒐めて何か重要事件の會議を開いてゐる時でしたので、會議最中は

扉、内から閂を卸し露人を入ず密議

を禁じ一切露人を入れませんでした。私達は室の一隅に腰を掛けて會議の模樣を見てゐましたが獨逸語で話してゐる事とて一切其の內容は知る事は出來ませんでした、て二時間程經つと會議が濟んだので、之等の獨墺人から難しく取調べられ、[illegible]

られたのでした。囚人車には既に四五十人の囚人が拘禁されてゐましたが、此處に入ると同時に車內に區切つてある一室に入れられたので、どうなる事かと見て居ますと、案の通り三人の獨將校は

綿密に一枚一枚　上着もズボンも

シヤツまで脫がせ最後に犢鼻褌一つにされ犢鼻褌の上から前、後、兩脇に押へて檢査されたのには聊か餘り善い氣持もしませんでした。と云ふのは私は犢鼻褌を二重にして其の中に二萬留と云ふ大金を忍ばせてゐたからです。之れが發見されてはならぬと股と股との間に固く挾んで直立不動の姿勢で逃るに委かせて檢査の終るのを待つてゐましたが幸ひ、之れには手が觸れず首尾よく發覺を免れました

殘念な事には　哈爾賓の總領事

から杉野副領事に宛た書面が此の嚴重な檢査の際に悉く過激派の即ち獨墺將校の手に沒收されたのでした、此の書面と二萬留とを共に犢鼻褌の中へ入れて隱せばよかつたのですが、まさか褌の中へ入れるのもどうかと思つて、上納さんの洋服には內隱しがあるのを幸ひ夫れに入れて貰ふ事にしたのでしたが、前に話した嚴重な取調べに逢うて見されたのは誠に殘念な次第でした』とさも殘念さうに阿部師は當時の事を語つた

漸く吾に歸て　話を續けて曰く

さやうチタへ送られたのは捕はれた翌日即ち十一日の午後四時頃にした出立する前囚はれの身となつて始めて黑パンの一片とスープとの食事を與へられたぎりでした。それからチタへ到着しましたのは翌日の明け方即ち十二日で直ちに縣廳の二階へ入れられたのでした、チタの邦人に自分達が囚れの身となつた事を知らせたい爲めかりに故意と食事を要求し邦人に差入れをして貰ふ事を請求したので過激派は早速邦人の許へ電話を掛けて呼び寄せて吳れました

此呼出に來たのが　横田氏であつた

此に話をする時間も與へられませんので、廊下と室に遠く隔たつて向ひ合つて乍ら只『獨逸將校の爲め佐藤總領事から杉野副領事へ宛た書面書類は沒收された』と漸く一言言つた切りで間の扉は番人の爲め又堅く閉されしまひました。が翌日は又民長船橋氏と樋田氏とが來て吳れました、此の日は民會長のお骨折りで室內で悠々面會が叶ふことが出來ましたので民長を恐に角椅子に掛けて下さいと民長を私の隣の卓子の隅の所へ無理に腰掛て戴きました。私が斯う

彼の一萬留を　卓子の下から渡

いたしましたのはたかつたからです……手渡しすることが出來たかと仰しやるのですか……や、幸ひ番人にも付かれず無事に手渡しする事が出來ました。十三日は囚人車で日を暮らしたので』『何日チタへ送られたのですか』と記者は其先を促すと師は『十四日朝チタを發車してイルクツクへ向ひました。後で聞けば私達顧問名々救ひ出す爲のアンナ夫人と村岡氏がイルクツクへ向けて立つたのは私達がチタを出立する前だつたさうです扨て私共がイルクツクへ到着したのは十七日の午後二時頃で、直ち軍司令部の一室へ入れられて

今度は全くの丸裸　にされ粗末なる

シヤツとズボン下と兵古の古服とを與へられて著替へさせられ其の上白いズツクの外套まで著せられたのでした。私は此の時愈々自分等の死が近付いたのではあるまいかと堪へ難い不安の念に打たれました』と又當時の事を追懷してゐるらしく暫く俯向いて秒時を沈默に過ごした。記者も師の當時の胸中を色々と想像してみたりなごしてゐたが其の後の事が氣になるので師の

チエツク軍がイルクツクを占領した日でした。チエツク軍の司令官ガイド將軍は私にとつて忘れる事の出來ぬ恩人です』と將軍の好意を示しながら感激した調子で感謝の意を漏らしてゐた。因に上納師は杉野副領事の一行に加はつて歸路に就いたが目下は滿洲里に滯在中との事である

水産廢物利用
廢物より滋養エキス

貝類に含めるグリコーゲン　其の他製造の際生ずる介類の煮汁はグリコーゲンを含有する故に煎汁となせば最も價値ある滋剤を得べく山川技師の分析に依れば「煮汁中のグリコーゲン量は九五〇パーセント、[illegible]」煮汁を生ずべき介類の種類には蛤、あさり、牡蠣等有力なるは言ふ迄も無く[illegible]煎汁となし介殼形の容器に詰めたるものなり尚他の介類の煮汁によりては之れを研究せば高價なる肥料となるべし

廢りとなる煮汁　鰹節を製造する際　鰹節製造の際生ずる煮汁は普通肥料となせども之を煎汁となせば[illegible]に利用し得べく鹿兒島縣の如きは一つの名產となれり而して他方には[illegible]

廢り物の昆布から

品として販賣せるを聞かず是れ一つは燃料の關係によると云はるれども尚大いに研究の餘地あるべし　朝鮮沿岸に産出する新しき研究（?）樺太並に三陸地方の海岸に放棄せる昆布を利用し『食の友』と稱する調味劑を製造せしものあり

タイラギの廢物を　人造眞珠と纖維及

朝鮮總督府中央試驗所で利用した實例沿岸に多量に漁獲せらるゝタイラギは肉は乾製して支那に輸出するも介殼は利用の途なく[illegible]人造眞珠と纖維、鳥（?）其他魚類又は其眼球より人造眞珠、花、料、製、海草より纖維、鳥獸の骨、臓より肥料及び油、鰐の腱よりゼラチン、其他の外皮、鰭等何れも利用せられ此の外に竹皮、苧貝のヘツドセン、古網にて製造の用紙、子安貝の貝殼より胡粉、ボタン、スタジ、茶碗及び花瓶等よりも重なる種々の製品を見受くることあり

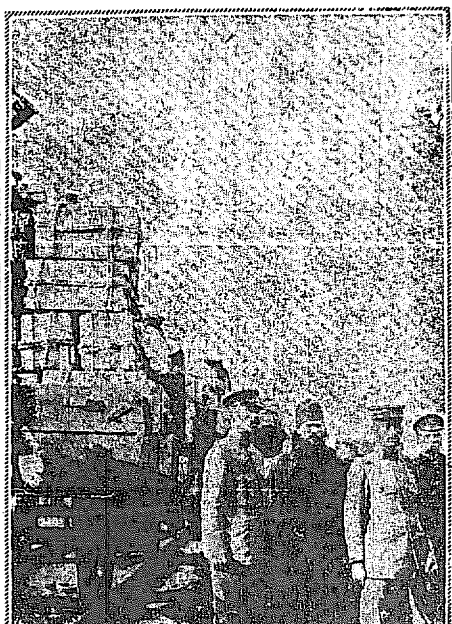
談話を促すこと　洒は撫然として

語り出した『併し其の後は何の變つた事も無く夜が明けると間もなく、市の東部高方のアンガラ川に注ぐウンヤコーフ川に沿うて建てられた廣大なイルクツク監獄に送られた上納さんとは一つの獄房を隔てゝ互に別々に一の獨房中に入れられたのでした。獨房の窓へ上つて出しの鐵格子に顔を差し出せば話しは充分出來るのでしたが

窓外を望む事すら　嚴禁されてゐた

のですから無論そんな事の出來やう筈が有りません。けれども恰ど入獄してから七十日目に入浴を許されたので其の時始めて上納さんと浴場で逢ふ事が出來何とも云へない嬉しさに身體を洗ふ事も忘れて四方山の話に入浴時間の少ないのを歎ちました位です

出獄した日ですか？　夫は七月十一日



從軍寫眞畫報　烏蘇里軍用列車　（『破壞と建設の競爭戰』の項參照、本社從軍記者撮影）

◎浦鹽へ行く　旅客と貨物

◆昨今夥しく增加す◆　時局の影響に依り北鮮經由浦鹽の旅客は昨年に比較し著るしく增加の趨勢にあるが今清津より乘船せし者のみにても七月中二千十六人にて昨年の同期四十人内外なりしに比すれば非常の增加なり殊に以前内地人旅客は每船二三に過ぎざりしもの最近は每船二三十人の多きに達し本月四日浦鹽行き城丸の如きは元山方面よりの乘客者多く爲に清津よりの乘客を謝絕したる位にて內地人の多くは[illegible]

◎破壞と建設の競爭戰
壞した鐵道を修理して追かける

（烏蘇里軍用列車の寫眞參照）こんな鐵道の取りつこの戰爭である、此の戰は一面鐵道の架設と破壞の競爭とも言はれる、なぜかと云へば敵は退却するに當つてドシ〳〵鐵路及び驛路を破壞し我軍は又グン〳〵之れを修築して追かける、寫眞は破壞された鐵橋前に來た貨物列車が兵隊さんの肩からドシ〳〵荷物を積み込まれるところ、此頃の戰線行きには度々出會はす光景である（本社從軍記者撮影）

◎東拓と咸北

東洋拓殖會社は現在殆んど各道に亘りて支店出張所を設置し移民を拓に巨大の放資を爲し地方開發に努め居るに係らず獨り咸北のみに之れを缺ける爲め閑却の姿なりしより當局及び地方人士從來屢々に咸北進出を懇願しつつありしも當局に於ては目下最も必要を感じつつあるを以て擴張資附並に沿岸漁民の移住計畫を提唱し拓殖出張所の設置を促す所あり尚見たるが最近東拓にては北鮮一帶をして清津に社員を駐在せしめ專ら拓殖資金の融通に就て一般人の便宜を圖ることゝなりしと（清津）

◎撫順の罷工
◆賃金を四割上げて◆

物價下げろと要求す　撫順炭坑大山坑モンド瓦斯工場從業員は諸物價の昂騰を追うて賃貸し生活の困難を過ごし難きを理由とし賃金四割増し給與請求を[illegible]運動の協議の必要上本月十日以内に回答すべき事を要求したるも當局は[illegible]約定したる由なるが從業員の態度は甚だ不穩に感ぜらるゝ點あるを以て米倉採炭坑長は打合の爲め大連に出張したりと（奉天）

◎藻から糸を取る
咸北にて實行

京城[illegible]試驗所にて發明したる藻花は[illegible]として適當なるを以て咸北道にては之が採取方の計畫中なるが採取製造は沿岸漁民をして之に從事せしむる方針にて既に第六號漁業權を有するものは採取物の種類に之れが追加の許可を受くべく其他の漁業權を有せざるものは新に之れが免許を受けしめたる上にて漁業組合員又は地方漁民をして該許可者と契約を爲し採取製造を爲さしむべしと（清津）

西伯利廢物利用法

◆鷄卵の殼を捨てないで◆　土地の人は殼はコーヒーやスープを澄ますのに用ゐますから、乾かして貯へて置きます　◆石鹸の小くなつたのは◆　細かい小さくなつたのは布袋に入れて[illegible]

◎仕入方一變
奥地の商人は

◆大連へ仕入れに入る爲めに◆　近來西伯利亞出兵の[illegible]大輸送の爲め一般貨物の運送は[illegible]便宜を求め[illegible]

◇朝鮮劇◇
薔花紅蓮傳（前劇）
朝鮮府胡兆　加藤灌覺氏稿

此の劇の筋道は今を距ること三百五十年の昔鐵山に裴と云へるものあり其の妻金娘女は兒の娘を遺して死亡したるが彼は其の二人の娘を愛育して姉を薔花妹を紅蓮と名づけたり然るに父は再び□妻□氏を娶りたりしが此の□氏には同植と呼べる連れ子ありしを以て常に利害が所有せる

◇◇財產◇◇　を全部同植に與へんことを希望せる結果日々薔花と紅蓮とを憎むこと甚だしく遂に□氏は謀して萬端彼の二遺子を讒告し終に薔花をして其の家を脫出せしむるに至れり其の同植は或る夜出でて薔花を見出し之を深谷中に投げんとしたるに一頭の

◇◇猛虎◇◇　出現して同植に嚙み付きたり同植は其の場を逃走して其の家に歸來し行りし事情を□氏に語り居るの際[illegible]之を聞して□等を吐露したれ其の紅蓮は姉薔花の遂に歸らざることを歎き之れ又其の家を脫出して其の身を大河の中に

◇◇投身◇◇　し以て薔花の後を追ひたり然るに程なく薔花紅蓮の亡靈現はれ繼母□氏の罪惡の一切を陳述し以て己等の仇を復し呉れられんことを乞ひたるに此の事遂に官に聞ゆて□氏及び同植を

◇◇極刑◇◇　に處したりとのことを敍す、右は朝鮮古小說に依り能く腳色せられたるものにして能く朝鮮人の心理的方面を發揮せるものに係る（終）

薙刀の御稽古外米の御馳走
邸の高女で創めたる面白き試み

大和町の[illegible]女學校では[illegible]第一學年生徒は[illegible]なつてゐるが同校では西の如く今第四學年生徒にて[illegible]西地の□、女子高師の[illegible]に行つてゐる薙刀操を行してゐる去る十三日の[illegible]日は恰も[illegible]を始め午前は殊に割烹の方も時間割に[illegible]價な調理をしたのであつた、此の薙刀操は

◇◇朝鮮では初めて◇◇　殊に敎師たる敎官古武史は曾て奈良女子高師で鍛へ上げた人で其の構へこいひ武術と云ひ感服の外はなかつた、薙刀の稽古が終つてから第四學年生徒の割烹料理の

◇◇外米の御馳走◇◇　があつた、献立は米の親子丼、[illegible]之れを味はつて見ても實際に美味しいのが

◇◇一人前只た八錢◇◇　の御料理とは汁うして受け取れぬ位、獻立の材料は（親子丼白米一升二合、外米一升二合、鳥肉百目、七兩、玉葱五枚、三ツ葉少々（煮出し）昆布一匁、[illegible]（酢の物）明太一尾、[illegible]一合の割で調理されたものである、食後校內を參觀したが

◇◇目新しく感じた◇◇　のは敎室にある生徒の机と腰掛であつた、校長の說明に依ると自身の考案になるもので全く實用向きに出來てゐるのが目についた、因に同校生徒、現在百九十五名內十名は來年卒業する、で之が初めての卒業生である、只現在遺憾なのは設備が不充分なことは大いに在るが何とか有志の研究を待つ譯である（大和）

白山黒水

▲內地ならば鈴木商店の買占めで細民連中から嬲られるやうな苦しい目に遭ひ▲其の苦しい中に紛れに火を放けたの血を流したのの騷動を演じた▲滿洲では[illegible]大豆や豆粕の買占めを行る爲め景氣が好い▲若し鈴木の買占めでもなかつたとしたら昨年から今年にかけての大連の景氣はとてもこれほど好い譯には行かない▲內地では買占められた苦い經驗に鈴木に火を放けた▲滿洲では[illegible]埠頭に燃えあがる▲この頃一寸怪しい騷ぎが前途になつたがまだ〳〵油斷はならぬ[illegible]埠頭には千人餘りの苦力が日夜警戒してゐる（大連）

（張三李四）

◆胡人の胡麻の蠅◆　北支那の[illegible]（三）こいふ胡麻の蠅北支那旅行中の京城の商人[illegible]の所持金二百四十圓と銀時計を卷き上げ捕へらる

◆係なく防殺令を◆　北滿洲にては米價騰貴に從ひ[illegible]より遂に、係なく官憲の手にて防殺令を布きたるため白米一斗二圓位まで下落せしめたり

仁川米豆取引所　[illegible]十六日の十一月限[illegible]

謹近火御見舞　京城黄金町三丁目　鹽川濟吉

謹近火御見舞　昨夜近火の際は早速御見舞被下[illegible]有之乍略儀紙上を以て御禮申上候　京城黄金町二丁目　法學士　赤尾虎吉

謹近火御見舞　京城黄金町二丁目一四三　諸官衙御用　室武男商店　電話二四二番

謹近火御見舞　京城永樂町二丁目　毎能自轉車店　電話三六三番

謹近火御見舞　京城永樂町二丁目　中林三左衛門　電話三三五番

謹近火御見舞　京城黄金町　有隣生命鮮支部

謹近火御見舞　京城黄金町二丁目永樂町入口　川口自轉車店

謹近火御見舞　京城黄金町二丁目　茶　橋永久松

謹近火御見舞　京城黄金町三丁目三八番地　祖父江政太郎

謹近火御見舞　京城永樂町二丁目　京城十友合資會社　電話六三八番

謹近火御見舞　京城黄金町二丁目　日清生命保險會社　朝鮮支社　電話一四九六番

謹近火御見舞　永樂町二丁目　小笠原鎌次郎

謹近火御見舞　昨夜近火の際は早速御見舞被下混雜中御名前伺洩れも不計乍略儀以紙上御禮申上候　京城黄金町三丁目　木材商會　中野谷秀雄　電話四二八番

謹近火御見舞　昨夜近火の際は早速御見舞を辱ふし奉深謝候混雜中御尊名伺洩れも不計乍略儀以紙上御禮申上候　京城永樂町二丁目七六　陶器商　佐藤磯治郎　電話二〇五八番

謹類燒御見舞　昨夜類燒の際は早速御馳付御盡力被下候段奉深謝候混雜中御尊名伺洩れも不計乍略儀以紙上御禮申上候　京城永樂町二丁目七六番地　又隆太郎

謹近火御見舞　昨夜近火の際は早速御馳付御見舞被下候段奉深謝候取込中御尊名伺洩れも不計乍略儀以紙上御禮申上候　京城黄金町二丁目　上田商店　上田武市　電話二六五番

謹近火御見舞　昨夜近火の際は早速御見舞を辱ふし奉深謝候混雜の折柄尊名伺洩れも不計乍略儀以紙上御禮申上候　京城永樂町二丁目　西村商會

電話增設　增設電話長三〇三〇番　撫順炭特約販賣　南滿洲鐵道株式會社　西村商會　電話九二〇番

謹近火御見舞　板木材商　材木商店　京城府黄金町二丁目　電話[illegible]　振替口座京城[illegible]

謹近火御見舞　京城永樂町二丁目　森安連吉

昨夜類燒の際は早速御馳付御見舞被下候段奉深謝候混雜中御尊名伺洩れも不計乍略儀以紙上御禮申上候　京城永樂町二丁目　支店　瀨川房吉

謹近火御見舞　京城永樂町二丁目　丸五商會　有田長

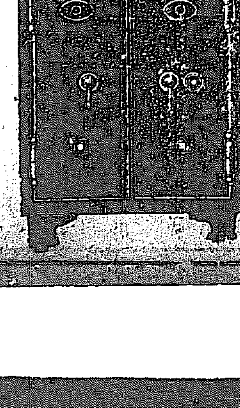
謹類燒御見舞　昨夜類燒の際は早速御馳付御見舞被下候段奉深謝候混雜中御尊名伺洩れも不計乍略儀以紙上御禮申上候　京城永樂町二丁目　本莊酒店　本莊彌之助

火災は一分間が最初の大切だ

ヒコーキ印粉劑消火器　京城本町　熊平支店　電話長六二四番三一一五番　振替京城二二二番

炎焰天に冲する猛火の中に悠然として財寶守護の任務を盡す者は只これあるのみ

竹內製ペントン式金庫



京城本町　熊平支店　電話長六二四番三一一五番　振替京城二二二番

商況

東京期米特電
未着

兵庫期米特電
未着

大阪株式特電
十六日前場 先限 二十七圓九十九錢 三節 二十八圓

定期	拂込額	十四日後場
宇治川水	五〇、〇〇	…
京阪電鐵	五〇、〇〇	…
東洋紡績	五〇、〇〇	一〇八、一〇
合同紡績	五〇、〇〇	…
鐘淵紡績	五〇、〇〇	二六六、〇〇
同上新株	四〇、〇〇	一三四、〇〇
東洋製糖	五〇、〇〇	九九、五〇
大阪商船	五〇、〇〇	一三四、六〇
日本郵船	五〇、〇〇	一〇六、六〇
同上新株	五〇、〇〇	一二〇、四〇
堂島米穀	五〇、〇〇	一三三、六〇
東京株式	二五、〇〇	…
大阪株式	五〇、〇〇	一七六、一〇

大阪三品特電
未着

大阪期米特電
十六日前場 一節 二十八圓十九錢 三節 十三錢 六節 二十錢

下關期米特電
十六日前場 當日休業 寄付高値安値止め共に買氣旺盛にて値頭更に利かず

雜報

●綿布反動安
當地綿布市況は品映乏しく入荷杜絶と云ふ人氣に煽られ一時三ヱー票の四百四十匁唱へとなり內地相場に驅いて一層狂暴な振はんさする傾向ありしが地方注文一段落を告げ**常軌を脫した採外の高値**に警戒の聲高まるに至り其後漸次冷靜に復し**商勢頓に衰へ**來りし昨今は三ヱー票四百十圓にて最高出來値より約二十五圓方反落し其後の採算上結局三百八九十圓處迄低落を見るべし

●正米漸次軟化
地方物の廻著依然稀薄にて消費地方よりも未だ廻米を見るに至らず米價の相場下落に傾きたる上に**彼岸日和のみにて無難を見越**せる內地朝鮮共に大豐作を豫想されるより**急ぎの振合**にて持米を**一層手放**し**賣物見本の數多**にして此間の消息を覗ふに足る

在米として一萬叺
在米は高々として一萬叺を超ゆるざるべしなるも市場の形勢斯くなりては氣配も軟弱に傾くは自然の成行きにて相場は一昨來約七八十錢安値の唱へとなり目下標準として日本種三十一圓九十錢次品三十一圓十五錢見當なるが形勢の惡化に連れ此後先漸次相場の下押しを見るに至るべし

●石油大亂調
石油は米油輸出の制限英油の輸入難乃至內地油の需要增加等にて元來が品拂底勝なりし處へ搗てゝ今回鐵路輸送の缺陷を生じ英油の如きは全然入荷杜絶となり北邊僅かに仁川より少量宛の米油廻著あるのみにして市中在荷は大缺乏を訴へ例により無い物高の常さとして此處市中相場は無謀の大突飛に瀕じつゝあり會社値は過般値上げ後依然松函八圓三十一錢勝利七圓八十二錢旗函七圓四十九錢と据置なるに拘はらず市中値は松函十一圓より高きは十三圓旗函十二圓と云ふ言語同斷の高値を呼びて異常の暴利を貪ぼり居れる向少なからず夫は當地のみならず鮮內各地を通じ大同小異の成行きを示し殊に交通不便の土地に於て此弊一層甚しきが如し

●內地製粉氣迷
續いて上騰歩調を呈せし製粉は九月辨天印九十限五圓五十六錢まで上進せしも時節柄前途の高値は一般に警戒せられたるより氣配稍軟調を呈し日本後には五圓四十五錢と十一錢方の引ゆるみを示し越えて十日には五圓三十五錢と更に十錢方の低落を演じたるが何分原料小麥は依然五圓四十錢見當より…

●白米安模様
白米は原料安に連れ弱氣配にて市中値は昨十五日より一等米三十二圓となり小賣値又五十錢方引下げたり高値原料の手透れ漸落逸せ難き模様なり

●鮮白弱保合
鮮白は昨今賣行き不良と原料市況の下向きに之又氣配軟弱なるも今迄比較的居處の安かりし丈け格別の相場引緩みなく保合ひつゝあり

●裸麥と移出
裸麥は現下在荷薄にて又出廻り稀なるを以て商內行はれざるも現下相當の利益餘裕あるが如く移出の見込みありと

●洋臘値上げ
洋臘社製品は十五日より市中一般に一斤に付三錢の値上げを發表せしが市中は期日之を實行せり斤物四十二錢五厘一箱二十一圓八十四錢に引上げたるが原因は原料パラフインの不調に合せて市價の品騰せる外輸送難及季節關係等も加はり居れるものなり

●寒天引締まる
寒天はゼラチン其他工業用材料として海外需要次第に增加し細物輸出の好況に連れ殊に本年は原料缺乏を告げ居れる影響を受けたる新物の高値に伴ひ來る見越し筋等も相俟つて徐々上向歩調を示し昨今信州…

京城正米市場
十六日の同市場は初會當日にて賣物の取引行はれず今市場にては十三十叺五十錢にて白三十叺ばかりの取引行はれたり

二日目の同市場は初會當日にて賣物の出市少く何分相場の配給も無く四千餘叺の前市に比し…一般氣乘薄なる模様

南大門廻穀
水原白米二六叺 大川小麥四五叺 金舍義中白米二〇叺 金村白米一一叺 大川小麥九〇叺 平壤粟一〇叺 東萊鎭麥二八叺 沙里院粟五七叺 東萊粟一九叺 天安小麥三叺 安東粟米二七叺 元山白米二七叺 沙里院五二七叺 開城白米二七叺 平壤粟二七叺 平澤白米二五叺 新義州麥二七叺

錢安の見當なり
出來高 ▲平澤三等合格品百六十八叺三十一圓八十錢▲西井里三等合格品三十二圓五十錢▲裸麥米九十叺二十四圓四十八叺三十二圓十錢▲百叺三十四圓九十錢▲裸麥六十五叺十五圓

室 大五仲買店
仁川米豆取引所仲買人 店主 猪飼政吉 電話 長三〇九番 自宅六〇一番

下關相場
朝鮮米は變らず 既報の如き事情の下に現物賣物の逼迫は依然として何等の緩和を見ず…五十錢處まで引締まり產地にては五十二圓に取引行はるゝ由にて且つ滯貨高の關係もあり當市中御値は百本二圓

●大豆は依然堅調 本品は依然產地より強硬なる情報あると共に各手持筋の氣張り居る爲め…
▲小豆は手堅し 本品は其後別に買進む相人現はれず市況は活氣を呈するに至らず然れども其後產地の人氣強くなる…

各地商況
▲元山大豆 十九圓九十錢 ▲同 二十圓 ▲京元線大豆塊口 十九錢 ▲雄基大豆 十五圓八十錢 ▲同 十六圓

●木浦米況 十四日 ▲玄米 依然商內なし移出筋全く氣乘薄のため市況依然さして更に振はず久しき無商內の爲め相場も區々にて捕捉し難く入手の玄二十九圓位にて二圓位の荒さありて買手あらずの…

釜山穀物市場 十三日
▲玄米 保合 海岸及び和船よりの廻著はますゝ増加し居るも鐵道よりの廻著は依然品薄なりし爲め前相場は乘り出したる…

市場雜觀
▲京城電話 天候發天地共に氣配強く大阪兵庫市況は依然保合にて安値なく依然保合を持續し居る…

釜山群山方面

生魚市場
京城日丸市場 本日は元山鯖目立ちて多かりしが其他少數の仁川物ありしのみなり
▲たい二五▲さわら二一▲すゝき一六▲ひらめ一四▲かれ一五▲にべ二▲さより一五▲たこ一七▲小たい三六

仁川正米
天候關係各地行出來にて當地依然保合の成行き

仁川期米
十六日前場
寄付は二十四圓十一錢安に…

依然保合

仁川米豆取引所 十六日の十一月限

	前場	
寄付	二十四圓四十錢	
高値	二十四圓	
安値	二十三圓九十錢	
止メ	二十三圓九十七錢	

北濱たより
鐘紡株 市に提灯の賣物も隨分出れたさうであるが何ふ當に於ては前期に劣らぬ營業成績を期待して居るから七分配當維持は困難でなく且つ次期以後多少の經緒が不良に傾くとしても同社の如きは他の紡績會社の見るべきものがあるから株價…

砂糖株 久しく市人から閑却せられた砂糖株は昨後期に依然あつた甘蔗作の不作が減收を免かれなかつたが本年は昨年の減少した甘蔗作…

仲買店
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長四〇四番二二〇

様々樂觀
米が軍用米の一段落と各地發落を報じたるより精米筋の見送りに氣配更に軟弱なりしが…

三等合格品三十一圓地摺玄米二十九圓五十錢見當
…

內地に於ける小荒れ模様

在米豊富
にて強含みに報じ京城は米薄にて比較的に値を維持し居る等新古米の端境期なる依り期日に於て大輸送に依る週輸出し居れり▲供給圖も今後旬日を出でずして出廻すべく又新米も追々出廻り來るべき時期に接し居る場合にて今後の配給も益十日間前後ならん當地正米界は在米貧なきと云へ居る前の京城方面よりも買ひ込みある振り合なるも買急ぎ物もなく氣配は安唱へなるも商談行はれず見送り居れりとの事▲田舎地方は本年作柄の…

依然絶望して入荷一向に…

籾の入津
▲昨後場は各地跡を未着にて當地先三十四圓十一錢さ一錢高に寄付き十錢さ辿りたるが戻りは又買物現はれ一錢さ押し三錢さ返し二錢さ大提戰を演じて一節後三錢より十錢五十錢さ跳ね三節十三錢を押し四錢三節十三錢よ…り十一錢ざ散會したり▲市況は大阪の品騰を受けたるも當地は存外頭重き場面であつた是非…

毛谷村六助 第十席 卅六番角力

桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

京極內匠は吉岡一味齋が此度周防の錦帶橋の作事奉行細原大藏と師弟の關係もありますから細原の作事方助役として出立をしたのを幸ひ、態々周防岩國の城下で吉岡を討果さんと始終他出を窺つて居りましたが此上は岩國へ行く途中で殺さうと吉岡の跡を尾けましたが何分にも大勢の事で討たうと云ふ隙が御座いません、迷うく岩國へ參りました、ア、莫迦々々しい何と云ふ愚かな事だらう我ながら呆れて了つた吉岡の供をして來た樣なものだ、一味齋と大藏は岩國へ著し御城代の吉川元春殿の許へ到著しました、吉川殿も吉岡一味齋作事助役として來られたのを大層御喜び遊ばしまして其夜は吉川家へ一泊を致しました、此方は京極內匠、其の夜は岩國本町の笹屋德兵衛方へ宿を取り、是より毎日相變らず一味齋の隙を狙つて居りましたが今日も今日とて岩國の町より在方へぶら〳〵と參りました、すると向ふから色の黑い背の高い男が足拵へも嚴重に草鞋履で左の手に二羽の兎を提げ右手に鐵砲を持つて來るものがあるから、ハテナ見覺のある男 京『オイ其處へ來るのは春影じやアないか、イヤサ春影殿じやアないか』聲をかけられて彼の男は立ち止まり 春『何誰です』 京『春影身內匠は被れる笠を取り 春『オヤこれァ先生異な所で御目にかゝるもので 京『エ、藤造殿酷い目に遇はしたな 春『何です先生、暫く振りで遇つて酷い目に遇はしたとは何の事で 京『貴公は酷い目に拙者を遇はしたな 春影氏彼の時御身が蹴つた跡で直衛家老より差紙が參り見れば長の暇乞しである、早速御身の所へ相談に參つた所最うお身は何處かへ姿を隱し、止むを得ず廣島を立つてか〻る仕末、お身は何うした 春『其後先生手前も彼の立ちません、手前一人で 京『夫なら案內したらば宜いじやアないか 春『先生手前も廣島を立退いて此方御承知の通りざと云ふ勝れた業も無く今では山雞士となり毎日此通り鐵砲を肩にして、山又山と兎鹿等を追ひ廻して詰留めた夫を城下へ出て賣拂つて今日を送つて居る鐵な情無い身の上で、家と申しても御恙づかしい譯で、非人にも等しき所 京『イヤ夫は苦にすることは無い 春『先生廣島で別れて此岩國在で過ふと云ふのも先生とは餘程深い因緣です 京『春影さては御身は吉岡が此岩國に來て居るのを知らんものと思はれる 春『エイッ吉岡が岩國へ來て居りますか 京『來て居る所じやアない、錦帶橋の普請に付作事方助役として細原大藏と共に來て居るのだ、大藏は城內の住居吉岡は町家の旅宿住居、砥を見て來たが 春『吉岡が此岩國へ來て居るとは何よりの幸ひ、夫では先年以來の恨を晴らして臭れようと附け廻して居るとは何よりの幸ひ、夫では先生常では迚も吉岡には敵ひませ合で先生が勝つて下されば申分がなかつたが先生が負けた爲めに共に連累を喰ひ岩國にも居られず、廻り廻つて當て度も無く此の岩國に參りました、然し先生御盤の御丈夫なのは何よりです 京『イヤ春影さうでも云つて臭れなければ立ち瀬が無いじやアないか、兎に角盛じ過つたのは何よりの幸ひだ、春影住居は何處だへ 春『住居は此先の吉田村で御座います 京『さうか夫では立話も出來ないから御身の住居へ案內して、貰ふそして悠々と相談を仕様じやアないか 春『イヤ手前の宅は御免を蒙むります 京『扨ては春影貴公は妻を迎へたるものと見ゆるな、二人差向ひの所へ拙者を連れて行つては邪魔だらう、夫では餘り薄情過ぎるでは無いか 春『イ、エ妻等は御座いませんから一層飛道具で殺つたらどうです、私も此頃は兎鹿等を追廻して居ますから最初は宜くゆきませんでしたが、今じやア大分討てる樣になりました 京『夫は何よりだ成程春影御身の云はれる通り鐵砲なれば、宜く行くだらう』と惡漢二名は道すがら話しをして其夜は吉田村へ參りました、之より內匠藤造は吉岡先生の一身を覘ひに附け廻しましたが一味齋先生には少しの油斷も御座いません。

安東近信(支局)

▲鮮銀庭球 朝鮮銀行安東支店にては行員の運動及び娛樂の必要上東本願寺前に於て庭球コート築造中の處既に落成したるを以て毎日練習に熱中し居れりと

▲乘車下車 去る八月中安東驛の乘車客は社線一萬五千八百七十一名乘車賃社線一萬二千五百四十八圓八十錢連絡二萬七千百六十五圓六十錢其他千二十四圓七十四錢降車客は社線三千八百四十五名連絡四千五百十二名也

▲手荷物數 同驛に於ける八月中の手荷物は社線五百二十五個一萬七千七百九十九斤この賃銀二百十三圓八十錢連絡五百八個一萬六千五圓三十四錢連絡三百三十一個七百五十七斤此の賃銀五百十八圓七十七錢なり

▲小荷物數 は社線千百四十個五萬七千七百三十一斤此の賃錢千十一萬七千三百九十四斤此の賃錢七百九十五圓二錢なり

▲寶運進水 高見造船所に於て建造中なる第五寶運丸六百噸は本月末頃竣工の上十月上旬進水式を舉行する豫定なりと

▲清津の救護所 清津府路病者救護所は清津有隣會に於いて經營するの計畫あり昨秋有隣會代表者一番ケ瀨健太郎氏より其筋に建設費八百圓の補助方出願せるが今回總督より許可されたるを以て愈々東海岸に建築する事となりたるが工費は七百五十圓にて該建物は溫突四間に炊事場及び浴場を有し約十五人を收容し得べく同所一ケ年の經費は約三百圓を要すべしと(淸)

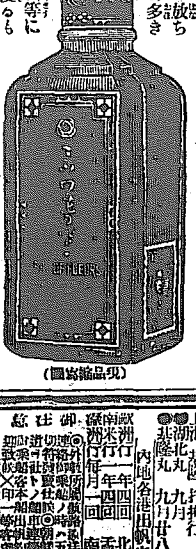
九月十八日 九星 舊八月十四日 戊辰 本命二黑坤危先負

▲二黑 旅に吉 婚姻に吉 …▲三碧 …▲四綠 …▲五黃 …▲六白 …▲七赤 …▲八白 …▲九紫 …▲一白 …

○ミツワ雪の雫
みつわ・ゆきのしづく
太陽は皮脂を除き、硬化せる皮膚を柔げ滑澤ならしめ、肌理を細かにし、皮膚の血行を進めて其の色を艷麗ならしめ、健全なる皮膚の新生を促すが故に、之を常用すれば、皮膚を強健清潔になし其の眞美を發揮せしめ、皮膚乾燥、龜裂、皸裂、汗疹、面皰、雀斑、火傷等に奏效し又白粉下に用ふれば、白粉ののびを良くし、美形ある化粧を施すに好適のものなり。
肌膚を柔軟にし色艷を麗しくする芳香無比の化粧料
定價 金四十錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

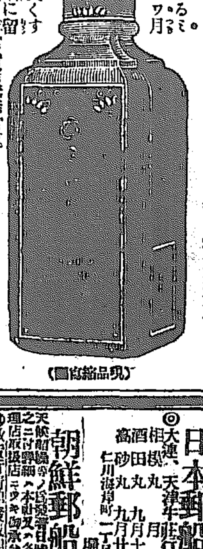
(現品寫眞圖)

○ミツワ花の雫
みつわ・はなのしづく
從來の家庭用香水には徒らに强烈なる香を放ち手巾衣服等に振掛くれば、汚點を殘すもの多きに反し、◎ミツワ花の雫は人を魅するが如き床しき温雅の芳香を有し、毫も汚點を殘す憂なく肌着、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面、浴槽等に用ふれば、淸涼の感を得ること、本品に優るもの無く、各家庭に常備すべき優良なる家庭用肌着香水なり。
オー・ド・フラール 芳香馥郁たる家庭用肌着香水
定價 金四拾五錢 大壜七拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ



(現品寫眞圖)

○ミツワ月の雫
みつわ・つきのしづく
優良なる品質を具備し、毛髮の衛生に適するミツワ石鹼を以て毛髮を洗滌せる後此のミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を添へ、毛髮の發育を助け、毫も之を傷め害ふことなく、色澤を艷美ならしめ、脂毛及雲脂の過度を防ぎ、榮養を良くするに特効ある美髮料なり、故に毛髮の衛生に留意し、美髮を欲するものには、實に理想的の榮養料頭髮用香水なり。
ヘーヤ・ローション 毛髮の榮養料頭髮用衛生香水
定價 金元拾錢 大壜金八拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

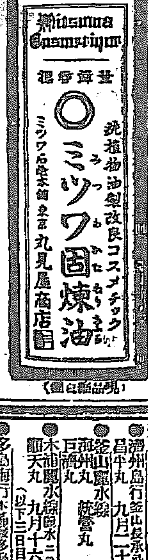


(現品寫眞圖)

○ミツワ椿油
みつわ・つばきあぶら
ミツワ椿油は冷搾法で强力なる水壓機を用ひ、少しも熱を加へずに搾出した新鮮純良な椿油で、普通の椿油と異り毫も苦味を含みませず、平常此ミツワ椿油を使つてゐると『理想的滲透性乾性油』と云つて毛髮に滲込む力が强いから、毛髮と空氣と接觸することが少く、從つて空氣が毛髮に接觸る結果、漂白さるゝ事なく、毛髮の黑い色素が段々に減り、赤毛や白毛に早く成り易い憂ひを除き、從つて臭氣を發するの患もなく、毛髮の發育を助け且つ色黑く艷を麗しくし、裂毛、折毛などの憂ひは決してないのである
毛髮の衛生に適する新鮮純良の椿油
定價 小壜 金貳拾錢 中壜 金參拾五錢 大壜 金貳圓五拾錢 入 內地以外は關稅運賃を加ふ

(現品寫眞圖)

○ミツワ固煉油
みつわ・こすめちつく
本品は優良無比のミツワ椿油を基礎とし、温雅なる芳香料を加へたるものにして、在來のコスメチック或は鬢附油に代用すれば、毫も毛髮を汚さず毛髮の發育を助け榮養を良くし其色澤を漆黑艷麗ならしむべき實用的美髮料なり。
コスメチック 本邦人に適する理想的改良鬢附油
定價 金貳拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ



(現品寫眞圖)

○ミツワブリリアンチン
ミツワ椿油に霰郁たる香水を配合せる模範的美髮料
本品はミツワ椿油を基礎とし、之に品質優秀香氣溫雅の香水を配合せるものにして振盪して用ふれば毛髮素症の禍原を除き、更に毛髮の榮養を良くし其の色澤を漆黑艷麗ならしめ、而も芳香馥郁として自ら爽快の感を與ふる毛髮の眞美の發揮に最要の模範的美髮料なり
定價 金參拾錢 大壜 五拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

(現品寫眞圖)

尼崎汽船仁川出帆
下關、大阪行 神代丸 九月十八日後四時出
群山、下ノ關、大阪行 秀吉丸 九月 日後四時出
群山木浦下ノ關大阪行 君が代丸 九月十五日後四時出
仁川海岸通三丁目(電話五九番) 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆
(仁川出帆)
神戶、大阪行(鎭南浦寄港) ×信濃川丸 九月十七日 正午出
群山大阪行 安東丸 九月二十日 後四時出
(元山出帆)
×木浦大阪行 信濃川丸 九月十六日 正午出
清津行 ●宮島丸 九月十六日 後十二時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 ●宮島丸 九月廿一日 後九時出
(大連出帆)
上海、北陸、打狗行 湖北丸 九月 日 前六時出
基隆丸 九月廿八日 後六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回 北米行毎月二回
南米行 一年四回 孟買行毎月一回
濠洲行 毎月一回 南洋行毎月一回
御注意 外國行旅客の各便乘船の節は…
大阪商船株式會社京城出張所 電話…

日本郵船仁川出帆
◎大連、天津、牛莊行 相模丸 九月 日
酒田丸 九月十二日正午出帆
高砂丸 九月廿七日正午出帆
仁川海岸町(電話十番) 堀 同 回漕部

朝鮮郵船出帆
天津、大連、旅順行
●雄基行 九月廿一日 元山
●浦汐行大阪經由 越後丸 九月廿一日 元山
平安丸 九月廿二日 元山
成鏡丸 九月十八日 元山
×山陽丸 九月十七日 元山
元山城津經由 鏡城丸 九月十九日 元山
●金剛山遊覽便 九月廿日
●釜山木浦線 九月二十日 釜山
●釜山濟州島行 金海丸 九月十二日 方
●濟州島行 昌平丸 九月二十日 釜山
●西鮮沿岸線 三浦丸 公州丸 九月十六日 木浦
●釜山麗水線 毎日 釜山
●木浦麗水線 九月十六日 木浦
●木浦行 九月廿一日 仁川
●多島海行 九月十六日 木浦
●海州行 毎日一回 仁川
●鎭南浦行 九月十七日 仁川
●江原丸 九月十七日 仁川
京城南大門通 電話二一九五
釜山 元山 仁川 木浦 代理店
其他各寄港地に代理店あり

汽車發着時刻
▲京釜線南行 ▲同上北行 ▲京仁線 ▲京元線 ▲兼二浦線 ▲湖南線 ▲群山支線

（每日中無休刊）（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）大正七年九月十七日 THE KEIJO NIPPO 第三千九百四十六號（一）

京城日報

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

[illegible]を節せんことは果して適當なるや否やを知らず米價暴落時に之が安定を冀ふに至るべし少數[illegible]を冀むも欲せず他に轉業し[illegible]る能はざれば米價に關する根本策を確立せんこするには此中間機關が果して適當なるを知らず[illegible]に對し價格の變動を補給すること[illegible]然的に價格を平準安定ならしめん[illegible]に賣出し安ければ一時に買上げ[illegible]限定せんこする改善は[illegible]て貯米を[illegible]するの[illegible]

東三省巡閲使の新任

京城日報

對外關係かはた對內政策か、北京政府が奉天督軍張作霖を以て東三省巡閲使に任じたることは既に報ずる所の如し。此新任は如何なる必要より來りたるやは、吾人の審かにせざる所なるも、察するに目下邊境に事あるの際に臨み東三省の統一を保つには、之に相當する機關を具備せざるべからずとなせることゝ、其の第一理由ならずばあらず。成程一應有理の措置にして、若し張督にして果して其の職責を完うし得るならば、眼前の局面に對し、日支軍事協約の實行を、敏活にし、許多の利便を得るを信ずと雖も、從來北京政府の措置は、官職のために人を擇ぶにあらずして、人のために官職を設くるの嫌ひあり、曾て張勛を以て長江巡閲使と爲したる如きの事例に鑑しからざるが故に、今回東三省巡閲使の新任も或は有名無實に終はるなきやを疑はざるを得ざるなり。

元來巡閲使なるもの、如何なる權能を有するや頗る疑問とすべく前清時代には全國を幾區に分割し要所々々に總督を置き、政權兵權を併せて之に委任し、內治外交の責に任ぜしめたるが、制度の弊は免るべからざるものありしと雖も、張之洞、袁世凱の如き有力の總督を得て、一方の雨鎭と爲したりき。當時東三省は徐世昌の鎭せる所なりしと記憶す。其際の總督と、今の巡閲使とは地位相似たるものありと雖も、其の實力に至りては逕庭あるべし。到底之を同日に論ずべからず。今東三省に就いて之れを見るも、鮑貴卿督軍の經歷と其の人と爲りは、吾人のいまだ詳かにせざる所なるも、聞く所に依れば張氏と何等かの關係あり、必ずしも反對の態度を執らざるべしといへり。故に此の方面は先づ心配なしとするも、孟吉林督軍に至りては、桀驁頑強、容易に他の羈軛を甘受するものにあらず、由來張孟の關係は[illegible]に取りては遇麟閣と共に厭たる大敵なりしなり。今遇は既に[illegible]脚し、僅に一敵國を減じたるも、張たるもの果して此の頑強なる孟を制御して、三省控制の實を擧げ得べきか、是れ實に大なる疑問なり。且夫目下張は其の部下の兵を割き、南方征討に差向けつゝあるが際なれば、一朝まかり間違つて孟が反を招くかあらば、随分奇妙なる事態を惹起せずとも限らず。かたぐ以て張が東三省巡閲使なるものは、一片の空名に止りて實際の動作を演ずるものにあらずと見て可なり。而も張にして蔚然身を挺で事に當り、名實相伴なふの境に進み得ば、東三省は最も我邦と利害關係の交錯する所、獨り軍事行動のみに止らず、日支新協約の實効を收むるに於いても、許多の便利を得ること勿論なり。吾人は此點より見て、此任命の反古とならざるを庶幾ふも、是れはた畫餅の飢を癒やすべからざるこ一般ならん。

更に支那の對內政策より觀察することは、たとひ虛名なりとも張が勢力を擴大するは、段內閣援護の一方策たらずんばあらず。何となれば段總理は新總統就職後、直ちに掛冠すべきを豫言しつゝありと雖も、此言の果して衷心より出でたるものなるや否やは疑ふべき點あり、假し又段氏にして此の決心ありこするも、周圍の事情は容易に別人の內閣樹立を許さゞるものなきにあらず。此時に於いて新總統をして無理にも武力解決の策を採用せしめんこせば、內閣の背後に存するの力を利用するの必要あり。即ち段氏の後勁たる直隷河南の派人派に加ふるに、東三省に於る張の勢力を以てせば、段內閣の羽翼はこゝに成れるものといはざるべからず。思ふに張督が曩に手兵を率ゐて北京に入りし際、是等の事に就て段總理との間に暗裡の握手を爲したるやも知るべからず。此事吾人の臆想に過ぎずと雖も、兎も角も總統更迭期の切迫せる今日に於て、突如として張督頭上に榮冠の落下し來れるは多少の意味なくんばあらず。而して吾人の觀察は、之れを對外關係に歸するよりも、對內政策より出でたるものとするの、寧ろ標的に近きを想はざる能はず。記して以て之を後日に徵す。

時局と國民思想（十）
國家の隆昌と皇室

樞密顧問官 一木喜德郎氏談（其三）

其れから又昨今民本主義といふことが盛んに唱道されてゐるが此の事は今も昔も變りが無い何れの時代と雖も民を本としてゐるのである明君賢宰であればある丈け民を本として來たものである。人をして處を得せしむるといふことは政治の秘訣である。唯今も昔と異つてゐる所は今日は國際の關係に當らなければならない、而も內に在つては政治の治安を保つと同時に國力を增進する、此國力を增進するには國民全體の力を集注しなければならぬ。又智識をも集注しなければならぬ。智識を集注するには國民教育を進めるといふことが肝要である。即ち治める者と治められるものとの調和が保たれるやうにならなければ、眞の善政は行はれ難い、昔の如く一階級が一階級を支配するが如きことは極めて宜しくない。憲法發布の御主旨に基づき國民の靈質に依つて與に倶に扶持するといふことにならなければ不可ない、自治制度も同樣の意味にて發布されたのである。此度の戰爭の經過に見るも、國體が進んで統一し集注する事の出來ぬものは劣敗に終らなければならない、こいふことは確に事實に依つて認められてゐるのである。其故に國民の全體が各々精力を捧供し是れが統一して初めて萬事が行はるこいふ仕組になり行くは自然の勢ひで、彼の擧國一致といふことが、唯だ名のみでなく事實に於て行はれるやうにならねばならぬ。然らざれば今日世界大戰の危局に當つて國運を維持し開拓して行く事は出來ない。而して今回の大戰の結果他の勢力を壓倒して國の權力を壟斷せんとするが如きものが出たならば、其れこそ問題である。之等の事は他の國には現に事實こして起つてゐる。然しながら擧國一致こいふことが國の運命を維持し開拓するの大要件である以上は、此の場合に於ては各種社會上の勢力が相抱擁して與に倶に扶持するといふに至らなければ亡國の運命に立ち至るは慣例の證明する所である。我が國民の幸ひとする所は、萬世一系の皇室を戴いて居ることである。而して國家が發達すればする程、勢力が增大すればする程、國民を綜合する中心が一層强くならなければならぬ。茲に於いてか我國の如き國體は實際萬國に比類のないことを切に感ずるのである。今日の英國があのやうな廣い植民地を控へてゐるが其れに對しても皇室が中心とならなければならぬといふことを、南阿のボア出身であるスマット氏が力說してゐるが、其れは彼の國に於ても勿論然うでなければならない而して國民の總ての勢力が國民の爲めに傾けば傾く程皇室中心主義こいふ事が益々國運發展の源となつて行くのである。民本主義こいふことが唱へられゝば唱へられる丈け皇室の尊嚴は增大するのである。即ち民本主義と皇室の尊嚴は相平均して行くものである。要之昨今思想の變化に憂慮を懷く人も、往々ありにするが。或は一種のタニックに類したものではないかと思はれる。然し虛心平氣に考へれば必ずしも憂慮を懷く程のものではない。然し社會經濟上の變化に際して、之れが平定を保たしめ民心をして把愛せしめることは、又之れを樂觀して自然の成行に委し置くことは無論當を得ざるの措置である。故に之等の問題に對しては、國民は勿論殊に有産階級の人たり有識階級の人たるものが大いに研究し調査し以て其の施設する所が無ければならないと思ふ。（東京支局…記）

哈爾賓畫觀（十二）
＝露西亞少年＝

鶴田吾郎

美しくこゝまでも自然に育てられるものはロシャの乙女である。永き冬の生活から解放された夏の彼等は、空に太陽の光に生長し行く力を要求ものである。朗らかな瞳、それは大空の澄きが如く、薔薇色の頬は夕べの色にふさはしい、戸外は無邪氣な然か[illegible]、更に彼女の服裝は、戸外に出て跳り戯れるに甚しき調和を保て、[illegible]見れば誰しも微笑まずにはゐられまい

藥學界の前途と國民の覺醒（二）

丹波藥學博士講演

今日では獨一桥製造すれば我國で消費する石炭酸の三分の二位は出來る、三分の一は矢張り不足であるが大學我國で出來ること云ふことは幾程の强味である。値段も無暗に騰貴する憂ひが無くなつた。何の藥品でも製造法はチャンと判つて居たけれども夫を實行して居なかつたのである。目下の處では各種の解熱劑、コカイン其他之に類する局所麻醉劑も概ね拵へて居る。輸入しなければならぬものは以前の十分の一位であらう。だから今日は藥品に於ては左程苦痛は感じないことになつたが、先年私の友人なる醫科大學の青山胤通博士が『丹波君、君一つサルヴアルサンを拵へて呉れないか』こ云はれたから私は『梅毒などに罹る奴は碌な人間ではない、それよりも僕の方には急なものがあるからまあ當分水銀劑ででも間に合せて置いては何うですか』こ云つて何でも一年許り押問答をやつて着手しなかつたが其内に傳染病の鈴木梅太郎君や理學者の久原躬弦君等が製造し出したものだから『丹波博士や理學博士が拵へるのに君の如き藥學門の人が拵へぬこは可笑しいではないか』こ云つて攻撃されるので夫ではやりませうと私も製造を始めた。だん／＼製造して居る間に日本製のサルヴアルサンは獨逸製より劣つて居ると云ひ出した。怪しからぬ噂を立てられて忌ま／＼しいと慨慨し乍ら藥品の効力は自分免許では仕方がない、自分も非常な努力を以て造つては之を傳染病研究所で動物試驗をする、次に大學の皮膚科の土肥博士が臨床的試驗をするのだが、試驗の結果は副作用があつたりなどして却々獨逸品に劣らぬものを拵へるのは六ケ敷かつた。併し私は之に依つて利益を得ようと云ふ樣な考へは無い、責任を以て獨逸品に優つたものを製出しようと云ふ抱負を以て始めたのである。最初は大學の費用で行つて居たが迚も夫だけで足らなくなつたので或る資本家に援助して貰つて八萬圓許り持つて仕拂つた其資本家も初めは『自分も永年此事業で儲けさして戴いて居るから其一部分を國家の爲めに出します、思ふ通りに致つて下さい』こ云つたので、何こも文句は云ひ得ないのだが今となつては內心つまらぬことをしたと思つて居るかも知れない。斯樣に散々苦心の末土肥博士の臨床試驗の方も『之ならば結構だ』こ云はれる樣になつた。輸入藥品の何々は判つて居てもさて愈々實地に製造するこ云ふ段になるこ容易く出來るものではない。唯今の樣に藥品の價格が騰貴した儘何時迄も保つて居れば我國藥品の獨立も出來る譯だが、之が平和になつた曉、何うなるか、獨逸の藥品が戰前の如く安くは來ないにしても以前の値段より四割、五割高位で來るこなつた時、日本の今日の製藥事業が繼續し得るや否や、大部分は繼續出來ないであらう。

並行線（八十二）

瀧閑村

刷れるに從つて原料の蒐集が自由になり、低廉になつたのこ、工場の能率の增進したのこ、製品の聲價とは朝鮮化學製紙の成蹟をメキ／＼擧げさせた。

昨年度は工場の燒失に依る缺損で無配當だつたが、今期は少くも二割を豫想されてゐる、此好況が技術長の地位にある高山を驕慢ならしめた事は云ふ迄も無い。

併し高山位の限りある收入で、放蕩の限り無い支出をなし得るものでは無い、が何でも其道々に相應の拔け裏のあるもので、始めは遊び友達の間で融通も利いた、それが利かなくなつた頃には、井上こ云ふ男がどこからか融通して來てくれた。約手の切り替に高い利息の嵩んでゆくのは、其時は苦にならなが、軈て忘れてしまふ。

今夜も井上こ一所に飲んでゐた口を掛た妓のまだ來ない間を、二人は時もない、淫らな話に耽つてゐた。高山は『盃』の雫を切つて井上に献して、

『時に又重用金が手薄になつたが、何處かで都合は付くまいか。』

井上は事も無げに

『そりやあるこも譯は無いサ。』

『ある？有難い、さう聞けばまア悠然飲める譯だ、イヤ每日油臭い石炭臭い工場の中にばかり押し込まれてゐるちやア遣切れないサ。』

『全くだ、御同樣に遊べる間が花で、今に親父にでもなつて見給へ、不眠でも苦い顔をして居無けりやならないからね。』

女中が遲つて來て、

『さア お熱い處を。』こ二人に酌をする。

『先生の……が遲いぢや無いか。』こ井上は顋で高山を指す。

『井上さんのするい事、高山さんをかこつけに、御自分が早く逢ひたいもんだから……』

『馬鹿な。』

『なんてチヤンこ顔に書いてありますよ、一發で命中、ドシンこ來たでせう。』こ女中は胸を指す。

『ドシンこ來るにや來たが、よく聞いて見たら是れだつけ。』こ井上は肱を曲げて突出す。

『ヨイショ、肱鐵がよかつたね、けども少し遲いやうね、催促して來ませう。』

女中の立つのを見送つて井上は少し改まつて

『高山君、君に是非會ひたいつて、僕に紹介を求めてゐる男があるんだがね、會つてくれないか。』

高山は箸を執り乍ら、

『會つてもいゝが、借金の催促ぢやあるまいね。』

『戯談ぢや無い。』

『一體誰なんだ。』

井上は少し聲を落して、

『村上——本町の。』

『村上君？』

村上こ云ふのはモウ三十年も前に朝鮮に來て、一廉の財産を作つた男だが、五分島の白銅貨僞造事件から始まつて、何でも儲かる事で不正な事には此男の加はらない事の無い位、辣腕な男だ。そんな男が自分に會ひたいこ云ふ事は高山には何の爲めか、考へ及ばなかつた。

『實はね、今迄君へ融通したのも、皆村上の手から出てゐたのサ、何か君に是非頼みたい事があるつて云ふんだから、會つてくれ給へ、決して君の不利益な事はしないから。』

狡るさうな眼を擧げて高山の顔色を窺ふ。

朝鮮銀行新株募集公告

朝鮮銀行が我國有數の特殊銀行として創立以來僅に十ケ年に滿たざるに拘らず鮮滿各地に互りて顯著なる發展を遂げ東亞の經濟界に多大の貢獻を爲しつゝあるは內外の周知する所なり今や同行は其資本金を倍額增加して總額四千萬圓と爲し更に大に業務の擴張を圖らんとし增資二十萬株の中三萬株をプレミアム付にて公募せらるゝに決せり今後同行業務の益々隆盛に趣くに從ひ其利益の遞增す可きは今に於て豫想するに難からず江湖の各位冀くば堅實なる同行の營業施設に信頼し機を逸せず陸續應募あらんことを

大正七年九月

大阪信託團
東京現物團
東京株式現物團

募集要項

一、募集金額 金參百萬圓
一、募集株數 參萬株（壹株額面金百圓）
一、申込株數單位 拾株トス（十株以下ノ端株ヲ附セズ）
一、申込價額 壹株ニ付額面金百圓ノ外割增金壹株ニ付金二十二圓以上 但シ單位ヲ五拾錢トシ端數ヲ附セザルコト
一、申込證據金 壹株ニ付金五圓
一、申込期間 九月十六日ヨリ九月二十日マデ（期限前ニテモ申込ヲ受ク） 但シ郵便ニ依ル申込ハ最終日營業時間內ニ受ケタルモノヲ以テ締切ルコト
一、募入決定方法 最高價額ヨリ順次募入シ同價額ノモノ募集株數ニ超過シタル場合ハ總拔ニ於テ適宜割當テ之ヲ定ム
一、確定證據金 壹株ニ付金拾五圓（申込證據金併算）
一、確定證據金拂込期日 十月十五日
一、第一回拂込金額 壹株ニ付金貳拾五圓 外ニ割增金共
一、第一回拂込期日 十月二十三日ヨリ十月二十八日マデ

株主總會決議要領、銀行定款、株式申込證、印鑑用紙及ビ朝鮮銀行營業概況ハ各取扱店ニ於テ御請求ニ應ジ差上可申候

朝鮮銀行

募集取扱店

朝鮮銀行 東京支店・大阪出張所・神戶支店・京城本店・平壤支店・仁川支店・大邱支店・釜山支店・群山支店・木浦支店・南山[illegible]・馬山[illegible]
朝鮮銀行 新義州・會寧・[illegible]・旅順・大連・奉天・長春・四平街・鐵嶺・安東縣 各支店出張所
朝鮮銀行 長春・吉林・哈爾賓・元山・札幌・橫濱・名古屋・京都・下關・福岡 [illegible]

大阪信託團 株式會社藤本ビルブローカー銀行、株式會社增田ビルブローカー銀行、岡崎[illegible]吉商店
東京現物團 [illegible]商會、山叶商會、[illegible]商會、[illegible]合資會社
東京株式現物團 帝國證券信託株式會社、株式會社織田商會、望月合資會社、南[illegible]吉、山中清兵衛、川北商店
京都 [illegible]太郎商店、[illegible]
名古屋現物團 [illegible]
名古屋信託團 安東竹次郎商店、佐分三之丞商店、荒川伊八商店、安藤利三郎商店、古川善治郎商店、若山幸三郎商店、[illegible]一商店

右記各店ニ於テモ御申込便宜取次可申候

◇本野子爵薨去

前外務大臣子爵本野一郎氏は豫て病氣療養中の處十六日午後終に薨去せり（但し喪を發せず）（東京至急電報）

◇チェック戰團承認

帝國及び同本部より近く發表

我帝國政府は佛國にあるチェック國民委員會本部に對し共同戰爭團體承認の旨通達せるがチェック本部の是に對する返電到達せるを以て一兩日中に承認宣言發表の日を確定すべく同時にチェック本部よりも右に對する發表ある筈なりと（東京特電）

◇反過派合併打合

オムスク政府の外交、內務兩當局者は北京駐剳露國公使を經て支那政府及び協商國と過激派各政府を合併の件打合せの爲め一兩日中に北京に來る筈なり（北京一電）

◇段氏は暫く留任

十月迄現狀維持＝徐氏第三通電

段祺瑞氏は徐世昌氏に對し現狀を維持し十月十日退職す可く退職前時局解決に就ては總て徐世昌氏の命を聽く旨責任を以て努むる爲徐氏は就職の電報を發せるなりと徐氏は第三の通電を發し總て至らば職に就く可き事並に其政權を宣布し且つ和平を希望する旨言明す可しと（北京特電）

◇南軍湖北に進入

南軍は湖北に進入せりとの報あり（北京電報）

◇獨逸副宰相の言

講和方法と白耳義問題

獨逸副宰相フオン、パイヤーは十二日スリツトガルトの演說に於て『今回の如き大戰爭は決して從來の如き普通の講和方法に依り終結す可らず』と言ひ尙獨逸は程白耳義に對し有利の地位に在る國無きを識らば何等の條件又は償金を得ず同國を還附するに差支へ無きを斷言せり（倫敦電報）

◇松方侯歸京

西那須野の別莊に避暑中の松方侯は十六日午後七時半上野驛着歸京の筈也（東京特電）

◇青島守備歸還

第十二師團より一年更代を以て選されたる青島守備隊將校二十四名下士卒五百九十七名は御用船〇〇丸に乘船し十六日門司入港同日原隊へ歸還せり（門司特電）

◎明年度豫算難

明八年度一般會計豫算財源たるべき六年度歲入超過額並に五年度剩餘金及び歲出不用額等合計約二億二千餘萬圓に達すべしと云へるが斯の如く巨額の財源を擁するに拘らず八年度に於ける

△經費の増大　は（一）出兵に關する經費（二）物價騰貴に伴なふ既定歲出の必然的增加等なり出兵に關する經費は今後の出兵範圍如何に依り豫め其經費を想定する能はざるも物價騰貴に伴なふ既定歲出の必然的增加額は其主なるもののみを擧ぐるも海軍製艦費並に水陸設備費、內務の治水事業費、商務の製鐵所擴張費、遞信の電話擴張費等の增加なり其他八年度既定計畫に屬する繼續事業費は約三億萬圓に達するを以て假りに之れを三割の增加と見るも約一億圓となる勘定なり而して是れ經費の增額以外今同實行せる官吏臨時增俸額約二千七百萬圓あるを以て前記巨額の剩餘金も是等の財源に充當する時は殆んど減殺するに至るべし而して明八年度に於ける各省

△新規事業費　の要求額は幾干を算するやは不明なるも明八年度新計畫中には官吏增俸案並に陸軍々團組織變改等巨大なる經費の要すべき新規計畫少からず、即ち官吏增俸案は上は大臣より下は判任官以下雇員に至る恒久的增額約五千萬圓を要すべく軍團組織に至りては其經費不明なるも大體現在の廿一個師團を其儘三個師團編成の軍團組織に變改せんとするものの如く其の經費の少からざる敢て察するに難からず故に其の他必要止むを得ざる新規事業費等を合算すれば少くとも一億數千萬圓に達すべきを以て政府は更に明年度に於て是等の恒久的

△新財源捻出　を計らざる可らず然れども我が歲入狀況は六年度以降益々好況にして加ふるに市況益々活潑なるを以て今後突發的事業に遭遇せざる以上八年度に於ても亦巨額の增收を見んこと明かなれば大藏省は一般本年度定額の結果明年度自然增收を一億圓と見積りたるが尙且つ其の財源を充足し得ざるより政府は更に歲入の增收的計畫をなし（一）印紙稅法の改正に依る增收（二）戰時利得稅率の改正並に擴張に依る增收（三）奢侈稅の設定等種々新稅目に關し査定をなしつゝあるも奢侈稅の設定に付いては大藏省內にても尙宿題として研究されつゝあり、要するに明八年度豫算も亦財源關係に於て頗る多難なりと云ふべし（東京）

◎日銀の利上觀

キ眼は物價調節と通貨縮少か＝影響結果如何＝

某有力銀行家談

日本銀行にては屢報の如く十六日より割引公定日步並に證券保證貸出日步を各二厘方引上げしが右に付某有力銀行家の所見を聞くに左の如し

▲何故の利上　戰亂以來吾が財界の發展は急激なるものありしを以て之れ政府の財政々策として積極的方針を執り輸移出を獎勵し國內產業の發展を計り日銀の割引步合並に貸出利子を低位におき一般市中金利を可成低からしめつつあるは有力なる理由に非ざるか今日と雖も此の方針を變更するの必要はあるまじ乃ち之れを對外貿易に見るも本年の出超は昨年に比し幾分減じたりと雖も猶ほ一億數千萬圓を算し金利を引上げ財界を緊縮せしめてまで輸入の趨勢を抑壓すべき時期にあらず戰後の前途も不明にて吾が工產品の外國貿込み進出には絕好時期たり予をして腹藏なく曰しむれば今日日銀金利の引上は帝國財界の前途のため慶すべしとはなさず、然し乍ら一步退いて考ふれば物價の騰貴は近時益々著るしく其の主因を通貨の膨脹に置くの說甚だ有力なると兌換券の發行現在の八億圓臺が十億圓臺にも及ぶ事ならば日本銀行としても若干警戒の必要もあるべく勞々金利を引上げ通貨の出口を狹め回收を多くし而して幾干にても物價の低落を圖り國民經濟の調節を圖らんとするも亦等閑事にはあらざらん唯尙ほ當分金利を動かさず現狀の儘財界を推移せしむるを可とするか金利を引上げ通貨を若干にても縮少し物價の低落を期し財界一部の不況を來さしむる如きは又止むを得ずとなすを有利とするかは得失俄に斷じ難し

▲利上影響私觀　尤も日銀が利を引上げたりとて如何なる影響の財界に及ぶかは今後の經過に徵するの外なし要は政府が將來も產業の發展輸移出の獎勵に積極的方針を把持するか日銀金利の引上と共に積極方針を消極主義に變改せざるか大問題たり、然も予は日銀金利の引上が政府の積極方針放棄となるべしとは現內閣の財政方針より見て絕對に信ずる能はざるに付吾が事業界並に貿易界が革命的の衝動を受くべしとは思はず然し乍ら日本銀行が標準金利の引上を行ひたる以上市中金利の引上を促し財界に或る程度までの動揺を來さしむる事は必せり試みに三方面の概觀を試むるも輸出貿易は金利の引上と共に爲替相場の不利は當然來るべく更に事業資金金利の昂騰は生產品の價格を上らしめ若干の打擊を受くべきや必せり又輸入貿易は非常の盛況を呈し居れるが內地金利の騰貴は輸入品の不引合を來し幾干かその氣勢を抑壓すべし更に國債募集の方面を見るに現在に於て年利六分二三厘にて證券の發行を行ひつゝあるが今後は民間金利の緊縮と共に六分七八厘若くは七分を唱へざれば募債困難なるべく政府は夫れ丈け不利の立場に立つ譯なり事業界は元來事業界は常に前途を慮るも現に盛況を呈し金利の引上が俄に影響を來たすならんとは思はれざるも從來の經營を持續するに付金利の上昇は生產費の昂騰而して物價の漸落見込はその手控へを余儀なからしむる事なきか株式界の如きは殊に最近神經過敏の模樣に付一時的にも不味の相場を現はすべし尙投機熱の抑壓並に新事業計劃の頓挫は到底免れ難からん

▲結果の豫測　金利の引上は通貨の縮少となり通貨の縮少は物價の下落を來さしむるは經濟上の原則なるが今回の日銀利上が夫等の方面に幾許の實際的影響を與ふるかは問題なり日銀現下の貸出高四億八千萬圓中その大部分は爲替資金として特殊銀行に貸付けあり爲替資金の供給は一部國債に依るの外日銀の援助なくては到底調節出來ず從つて通貨の縮少物價の低落がいかなる數字を示すかは疑問たり或はさしたる事なきかも知れず唯從來の如く甚だしき昂進率を示す事はあらざるべしそは今日に於て斷ずるを得ん

◎鑛業會役員會

朝鮮鑛業會にては十六日午後四時南山町事務所に於て役員會を開催せり

◎丹波博士招宴

朝鮮藥學校幹部及び講師等は同校の設立に與つて力ありし丹波藥學博士を十六日夕朝鮮ホテルに招待饗宴を張りたり

◎鹽澤大佐巡閱

京畿道警務部長鹽澤大佐は水原、安城兩警察署及び廣州憲兵分隊一部巡視の爲め來る十八日出張二十三日歸任の筈

◎炭價調節急務

調節の方法＝當局の努力

朝鮮に於ける木炭の需要は年額約一千萬貫にして既往に於ては內百四五十萬貫及び薪材四百五六十萬貫の供給を內地より仰ぎつゝありしが最近內地に於ける薪炭の暴騰に加へ船腹不足運賃等の昂騰に基づき

△移入減じたる　一面各種工業就中製藥業の發達に伴ひ薪炭の消費量増大せる結果一般物價の昂騰に伴ふ生產費の增加等に相俟つて薪炭の需要最盛期を待たず昨今市價は未曾有の高値を現はすに至り今日の情勢を以て進む時は本冬は米價問題に類する薪炭問題を惹起すやも測られず兎に角在住民の生活に脅威を感ずべく而も朝鮮の如く寒氣凜烈にして長期に亘るだけそれだけ甚だしきものあるを以て最近之が調節の急を叫ぶ聲漸く大ならんとしつゝあり元來朝鮮の林野は或る一部の地方を除きては燃料の供給缺乏せりとは見る可らず

△奥地の森林を　伐採せば必ずしも焦眉の急を救ふを得ざるに非ず故に當局に於ても目下吏員を派して國有林の拂下を爲し得べきもの、調査をなしつゝあり又ては左の三策を施す事に就て考慮中なりと第一策としては江原道春川、咸南安邊の國有林及び全北茂州、全南智異山の大學演習林の拂下に關しての交涉第二は薪炭代用物たる松毬、鋸屑、使用ポプラ、アカシヤ等の速成樹伐採、燻炭の使用等を獎勵し第三は薪炭の輸送運搬に就き鐵道と特別の交涉を爲す事等に

△運賃低減を計る爲め　國有林及び大學演習林の拂下は營林所在地附近の製炭業者に拂下げ出來る丈け生產費を低減せしむるを便宜とすべく又人爲的に不自然の暴騰をなさしむる者に對しては官憲の取締を嚴重にする等徹底的に調節を計る方針にて目下之等の施設を進めつゝあり又場合に依りては地方費の一部を以て生產費の一部を補給するやも知れずと

大阪より

▲大電增資妥協　豫て問題となり居れる大電增資問題の妥協重役會は九日正午より同社樓上に於て開かれたるが事秘密に屬するを以て其の內容を具體的に知る事能はざるも某重役の談によれば社債派と增資派との間に妥協成りたるものゝ如し而して目下の增資金は結局增資によつて之を求むることになるに至るべしと

▲人肥業者苦痛　人肥業者の多くが目下使用しつゝある「ラサ島燐鑛石は平均六十圓より六十二圓位のものにて此原鑛を使用して普通過燐酸十貫入り一叺を製造するならば原價は二圓を要するに拘らず相場は一圓九十錢より二圓にして手一杯又は十錢方の損失を見るが如き狀態にあり此損失を配合肥料の販賣に依りて漸く當面の苦痛を糊塗し居れるが如き始末なれば肥價にして今後引締らざる限りは斯界に或は恐慌を見るやも知れずと心ある當業者は甚だ憂慮し居れり

▲三都市營業稅　大阪稅務監督局の調査に係る大正七年度管內營業稅表中より大阪京都神戶三都市の營業稅を比較するに大阪市は營業稅納付人員三萬千七百三十二人にして前年より四千六百十一人を增加し營業稅額は五百六十五萬八百圓にして同上二百三十三萬三千五百七十六圓約八割五分の增加を示せり京都は人員一萬四千三百九人にして前年より千四百十五人を增加し稅額は九十二萬八千九百七十七圓にして同上三十二萬二千七百十四圓約二割五分の增加なり神戶は人員一萬百七十七人にして前年より二千百九十三人を增加し稅額は百四十四萬五千七百五十一圓約八割四分を增加したるは物價騰貴に據る營業人員の增加したるに據るも增加人員より稅額の增加甚だしきは數量の增加より寧ろ價格の暴騰に因るもの多し

▲羽二重稍閑散　羽二重輸出狀況は一時好況の後と云ひ生絲の成行不振を示し且海外新規註文としては小口に限られ又銘柄手當物も一息の狀態なり商館及び其筋共に一寸觀望に傾き僅に內地向小口買物ありしに過ぎず產地相場も福井金澤共に十錢乃至十七錢品位の引下げ方を見たるが下值には有力輸出筋の買物潛在する狀況にて一氣の暴落はなく寧ろ强含みの成行なりと

▲米棉反動高　三日間に十二圓三十錢方暴落せる米棉相場は六日に至り引返し氣配となり大引一圓十錢高を示し七日は更に五圓六十錢方引返し八日も强含みの內氣配なりと

▲印棉暴騰前途　印棉ブローチ先物相場は七日二留安にて九十二留となりたるが依然米棉に比して逆鞘の暴騰なるを以て紡績側は買入を手控へ居れるが高値持續も永く續かざる場合なれば現在の高相場は買方の利喰等に依り必然低落の時期到來を豫想し紡績側は之れを期待の狀なりと（竹水生）

◎九州の鑛業熱

最近の許可數

近數年來鑛業熱の勃興した事は驚くべきものであるが本年三月十六日以降四月二十日に至る三十六日間に農商務省から鑛業法に依て試掘許可した物は實に二百四十六の多きに達した一當局者はこの約一箇月餘りに試掘を許した箇所の多くは九州であつた當局の許可は試掘許可、試掘許可の物試掘區域減區願、試掘區增區願許可等の區別はあるが兎も角

△二百四十六　こは可なりの數であるそれで最も多いのは福岡縣下の四十三で之れに次ぐのは熊本縣の四十、山口縣の三十八であるそれから長崎、鹿兒島、佐賀、宮崎と云ふ順で沖繩縣下にも五箇所あつた又鑛山の種類の最も多いのは石炭で百七十箇所金山銀山も中々多く六十箇所ある此中大部は金銀兩礦を兼ね中には合せて其他を產出する

△見込みの山　もあるが他の物では鐵、安質母尼、滿俺、錫、重石、鉛、亞鉛等である採掘願者は大部分九州に居住してる者であるが東京大阪方面にも多少はある而して此面積の最も廣いのは一百萬坪を有するもので四所ある第一は熊本縣葦北郡二見村地內の石炭山で鑛業權者は東京高輪の長谷川太郎氏次は長崎縣東彼杵郡大三東村三會村地內の石炭で所有者は福岡市茶屋村の中山一郎氏外一名第三第四は

△共に大分縣　下に在り一は下毛郡三保村尾紀村地內に一は同郡三保村大幡村山口村の地內に在つて二つとも石炭山で所有者も同一人で山口縣厚狹郡宇部村原富常一氏である

◎作戰或は一變せん

我派遣軍は浦鹽上陸以來迅雷的勢ひを以てハバロフスクを拔き今又風の如くアラゴエチエンスクを略す此の戰績より按ずるに敵は烏蘇里線の一戰に於ける我軍の勇敢なる行動に全く膽を奪はれ既に反過激派思想に一變し了はりたるものと想察するの外なく思想の一變にあらずんば如何で斯の如き戰績を擧げ鐵道の完全なるを期し得ん此の戰績を贏ち得たるを機とし我をして派遣軍司令官たらしめば直ちに僅少の鐵道守備のみを殘しハバロフスクより十二師團の主力を同じく鐵道を利して浦鹽より哈爾賓を經て第三師團の後を追ひチタに向つて集中せしめアラゴエチエンスク以西の黑龍鐵道沿線の敵狀は今や知るべき而已最も哈爾賓に迂回せしめずとも黑龍鐵道を直ちに前進せしむれば里程に於て有利なるが如きもブ市とカルムスカヤ間は猶未知數の區間にて未知數の區間を前進せしむるは時間の點に於て顧慮すべきものあり斯くて神速に兵をチタに集中し更に一大快擧を敢て企つべき也蓋し今や將に我作戰變更の好機にして此點は戰略に一隻眼を有するもの、しく認むる處攻略と相俟つて白軍が更に雲の如くバイカルを拔き風の如く烏拉爾を越ゆ果して何れの日ぞ（留守小倉師團參謀談片門司）

◎客月裁判所取扱事件

七月中の朝鮮各裁判所及び檢事局取扱事件數は民事々件新受六萬九百四十三件舊受三千三百四十八件合計六萬四千二百九十一件にして終局したるもの六萬千五十七件終局せざるもの三千二百三十四件之れを前月に比すれば新受三萬六千八百二十八件舊受七十一件終局したるもの二萬六千七百九十五件終局せざるもの百十件を減ぜり又刑事々件に於ては新受二千二百八十六件舊受五百四十九件合計二千八百三十五件にして終局したるもの二千二百九十件終局せざるもの六百十五件之を前月に比すれば新受百十三件舊受八十二件終局したるもの二百九十三件を減少し終局せざるもの九十二件を增加せり檢事局受理事件は新受五千二十六件舊受千百四十九件合計六千百七十五件にして終局したるもの五千百三十一件之を前月に比すれば新受四百八件終局したるもの三百二十五件終局せざるもの八十三件を減少せり

人事消息

◎三宅驥一氏（理學博士）十六日夜入京朝鮮ホテルへ

◎前園甚左衛門氏（長春東華煙草公司取締役）同上笑嶺館へ

◎丹波博士　十七日朝退京の筈

◇鳥瞰雜組◇

浦鹽派遣の各國軍に對する露人の評判を聞くと面白い▲佛軍は名優の舞臺を踏む如く日本兵は堅く而して强さうだ米軍は金持の息子が獵に來た樣だ▲先生却々巧い事を云ふて居るかといふと羅馬尼人である▲羅國は千九百十六年八月に參戰して御承知の通り戰爭と疾病と飢餓と飢餓で死んだ人間が八十萬に達して居る大戰參戰國の中で一番何處の國の人が死んでるかといふ▲同國の人口から割合を見ると其一割一分に當つて居るこれでは羅國が屈古垂たのも尤も千萬▲ルーズベルト君の末子のカンチンルーズベルト君が佛戰線で飛行機から墜落戰死したので佛大統領ポアンカレー君は鄭重な弔辭を送つた狀の末文に曰く▲予が唯一の慨事は予の兒等と戰線に肩を並べて戰ふことの出來ぬことである▲ルーズベルト君が之に對する謝辭に何處迄も快漢振を發揮する處は頼もしい▲東洋では何やかと獨探振りの快だ辛辣なる手腕を振つたヒンツェも一度外相となると大したことも出來なかつたらしい▲が吾人は何等の不安を有せず黨徽を取らんとすれば荊棘の爲破傷を負ふは眠れぬてな事を云つて居る▲口丈けは相應に立つ男と見ゆるワイ▲獨逸今日の外交は最う一枚上の大役者でなければ背負ひ切れまい▲今度新外相キュールマンが新任するの話があるが果して何う云ふ政策を取るのか獨の外交は列國監視の中で手品を使はねばならぬから大概はギャフンと參る▲左手にパイプ右手に劍ではなくて戰爭繼續と講和欲求を兩手に引つ提げて立ち向ふと云ふ段取は最う見ぬ透いて居る▲消入なんて名から早や緣起でもないマア之れも長續きの受け合は出ぬワイ而し誰が來ても今の處ぢや當分駄目カナ▲一番手っ取り早いのは獨帝が伯林へ白旗を揭げる事サ

◎探偵取引所

……の英國……見……である此處から出す報告には獨逸が英國の侵入に關して立案し居る計畫が殘らず明かになつたのでドーバー海峽が封鎖されることに準備されてあつた△又同島は過去數年間の天候を觀……北海の方から上陸を遂つて英國東……度の戰爭の口火は此月に切られた獨逸の戰術教科書に曰く『戰爭を……△以上は六年前我英國……が北海……開始すべき時は政治上の理由の……

課題及び募集規定

懸賞募集規定

……作文は同形の用紙……

商業登記

株式會社漢城銀行ハ大正七年九月七日釜山府大池町四番地ノ支店ヲ左ノ處ニ移轉シタリ
釜山府本町參丁目拾壹番地
右大正七年九月拾參日登記
京城地方法院開城支廳

商業登記公告

株式會社朝鮮商業銀行取締役洪忠鉉、金漢奎ハ任期滿了ノ處大正七年九月五日左記ノ者就任ス
京城府長橋町五拾九番地　張斗鉉
京畿道高陽郡龍山面東幕上里貳百拾壹番地
京城府貫鐵洞八拾六番地
監査役張斗鉉ハ辭任ス
右大正七年九月拾參日登記
京城地方法院平澤出張所

林產物拂下公告

一、江原道春川郡新北面北山面馬跡山國有林所在立木
　一、用材　四、〇三尺締
　二、薪材　九、四七七尺締
二、江原道華川郡華川面大洞山國有林所在立木
　一、薪材　二、六三尺締
右十一月三日午前十一時江原道廳ニ於テ入札ス詳細ハ九月十六日以降朝鮮總督府官報ヲ覽ヘシ
大正七年九月十六日
朝鮮總督府

公告

一、煙筒貳千五百四拾九本
右來九月二十日午前十一時入札ス希望者ハ當組合揭示ヲ見ヨ
京城學校組合

◎露語、支那語夜學開始
授業時間自午後七時至九時
出願期日九月二十八日限り
京城　善隣商業學校

株式名義書換停止公告

來ル十月一日ヨリ定時株主總會終了ノ日迄當會社株式名義書換ヲ停止ス右定款第十八條ニ據リ及公告候
大正七年九月
朝鮮郵船株式會社

京日案內

普通七行一回前金一圓
▲申込中途中止の節は料金の拂戾しを爲さず▲六回以上の御申込は特に割引す▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

男女事務員至急入用　希望者は自筆の履歷書携帶本人直接來社あれ　朝鮮公論社

◎蒙古大洋犬チヂレ毛眞黑の犬首輪付田洞犬御見當の方は電話三千番へ御知らせを乞ふ

事務員一名入用　廿歲以上　希望者は自筆履歷書携帶本人來談あれ　京城明治町　電話二六〇　浪花館

觀相　◎運命指導　◎開運指導　◎姓名年齡記るに不及　◎方角鑑定
南龍子出張　京城旭町一丁目

雇入たし　專門學校採鑛冶金科卒業又は之と同等以上の實力ある者
電話一三四四番　黃金町一丁目　京城鑛物試驗所

土地賣物　京城府三坂通四〇二番地　伊藤商店

高等下宿　一月十二圓　宿料一泊食付五十錢　京城太平通二丁目　釜山日報支局向側　三浦商店裏　三好館

金地金砂金高價買入　京城府本町二丁目　電話四七一　振替三一九〇　村木時計舖

恩給年金　低利長期　四年半迄　保險不要　商品陳列館前　京城永樂町一丁目表門角　江州屋本店

教員受驗學科講義

◇師範教育其他各種學校教員志望者の爲新式講義により教員受驗學科を自習し得る
規則書見本申込次第　東京小石川茗荷谷町五　帝國師範教育會

●競賣廣告

一、今般當地淸華亭內地引揚に付所藏家具、什器、書畫、骨董、全部左之方法に依り成行競賣執行す
一、場所　京城黃金町淸華亭
一、下見　十七、十八兩日
一、競賣日　十九日
午前九時より勵行す
世話人　阿藤新太郎　村上正治

職募集

最も容易な出品自宅製造原料引渡貨……永久引受確實熟練工賃月收五拾圓以上者經驗有無不問優待採用案內書無代
大阪本町通　東洋物產會

京城　春川間　乘合新式自動車!!!

當商會大正四年十月開業以來益發展に趣き候段は偏に各位御眷顧の賜と奉深謝候今般御乘客の眷顧に酬ゆる爲め更に快速にして乘心持能きスプリングシーツ付トリング最新式自動車數臺を購入し九月十四日より迅速確實を旨とし運轉仕候間一層御愛顧の程願上候
京城發　前八時　後十二時
春川發　前八時　後十二時
弊商會移轉營業せしかの御照會の向も有之候も小生經營の京春自動車商會は從前の場所にて營業罷在候間不相變御用命願上候
京城水標町　京春自動車商會　松田壽男　電話一二三八番

曹達灰入荷

京城府太平通二丁目三百二十六番地
株式會社常盤商會朝鮮營業所　電話長五七六番

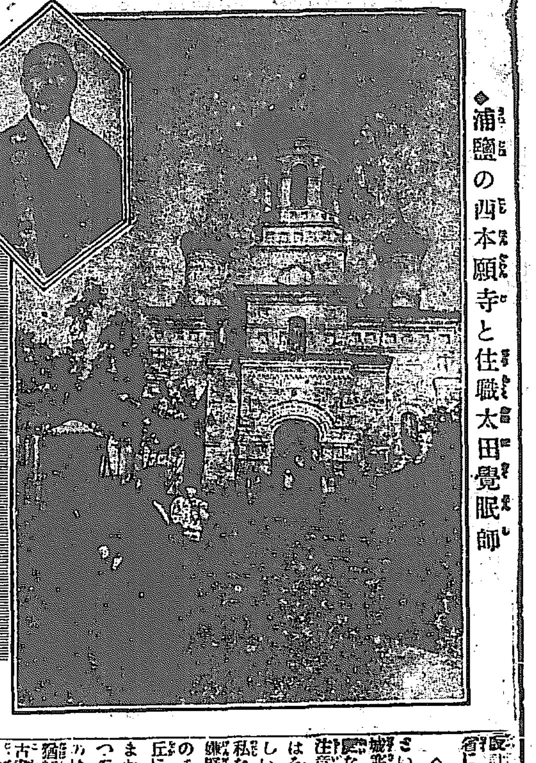
於福岡京都大阪各大學藥局醫藥用として連續御使用
●本品は一滴の混和物なき純良無比の牛葡萄酒なれば補血强壯剤として日常缺くべからざる好飲料なり
發賣元　大阪道修町　小西商店洋酒部

外科　皮膚科　內科　花柳病　小兒科　入院隨意　夜間診察九時迄
院長　正六位勳四等功五級　島崎龍
京城旭町一丁目本町通り左に入る　電話二七三六
島崎病院

仁川米豆取引

仁川　期米

……ものが出來て材料の取引を行るやうになつた、その本部は白耳義に在つて所員は主に獨逸種の米國人◆扨て此取引所の探偵によつて獨逸へ封鎖するこゝになつて居る……云つて逃つて摑むするこ間もなく精密な報告を送つて來るのである……海峡の交通を遮斷し、英國……をスピットヘッドこポートラ……に光つる所か探られて其の外……に此敵中航船を澤山用意され又晴……天の日には大西洋を航行するやう……情報機關の休む銀行の休日を覘つて企畫を遂行する筈であつた銀行……が出來ないやうに思はれる、併し獨逸の士官等は眞面目に此の計畫が實行されることを信じて居る……の休日は八月の初旬である果然今……而して即時一擊を加ふるこそ最良の實戰なれ」こ



◆浦鹽の西本願寺と住職太田覺眠師

◎浦鹽の西本願寺

初代の住職は浦鹽の土になつた

快和尚太田覺眠師は語る

日本人で露領に土地を有つて居るのは此處許り、露人は汽車一つ動かし得ぬ人間

浦鹽の西本願寺は明治十五年に出來た、日本の海外にある布敎所こしては布哇の本願寺が可當古いが浦鹽は更にその以前である、最初布敎師が來たのは何でも長崎邊の邦人が澤山になつたから特に本山が派遣したもので初じの人は當地の土こなつた、なぜ長崎邊の人た……されぬ爲借令土地を借て家を建てしも十五年目には地代を地主に差出さなければなりませぬ、現に此の寺なども大正四年に

◈大谷光瑞法主

が見ねて起工式を擧げましたが土地は市から借りたにも拘らずごうしても所有を許しません、原因は基督敎の坊さんが抗議を申し出るので市會の決議でさへ駄目になりました、其の後歐洲大戰勃發以來コンダッチ總督が大いに日本に氣を兼をして運動して呉れた結果やう／＼許されるとになりました、只今露領で日本人の土地を所有して居るのは此處ばかりだこ思ひます現にあの向ふの寺なごも支那人がやつこ建てかけてあの通り煉瓦を積上げたのに西亞のお寺から抗議を申し込んで中止の姿こなりました、日露戰爭前まで日本人は

◈支那人同樣に

扱はれて居りました戰後は幾らか憐れられ歐洲戰後は日本の後援を見て幾らか支那人こ區別しました現に私共が歐洲から初めて赴任して來た知事——浦鹽は軍政になつて居ましたから軍務知事でした——を敬訪しても答禮一つせぬこいふ有樣隨分感服つたものでした露人のわれ／＼こ異なつた點は過激派なごも其の一つです、現に過激派がストライキをする、日本ならば金で買收するこいふとが出來るが彼等は干鑑こ金こを取換るとが出來ませぬ、されば過激派の思想を力で壓迫するこいふこともなか／＼むつかしいこと思はれます、

◈日本人が行政

露人の中には浦鹽にもやがて……をこるだらうなど申して居ります露人は割合に自分の土地に執着心がないやうですから不自由こ見ればサッサこ引挪つて了いませう現に大連の露人は皆逃げ出して了いました、日本人こ一緒には生活し憎い國民こ見ゑます、過激派の連中などは大分浦鹽を引挪つて田舍生活をやるこいふ者があるやうです、露人は愛すべき素朴の民に違ありません、誰を見てもお人好しの人間ばかり無敎育者も澤山居ります、露人には東洋人的な處があつて一般に科學的の智識に缺けて居ります、露西亞の誇りは宗敎の制度こ芝居こ音樂の三つです

◈宗敎の制度は

あれ丈け彪大な國土こあれ丈け多くの人種をうまく結合させて來ました、この頃漸次此の方面までグラツィて來たのは露國の爲めに悲しむべきとこ思ひます、露人は汽車一つ動かし能はぬ人間です、西伯利亞方面の鐵道なごは主にポーランド人、猶太人、スペイン人がやつて居りました、それに露人は算盤に無頓着なとにもあきれて了ひます、現に本願寺附近にも多くの露人が住つて居りますが最初來た時は什麼大富豪かこ思はれるやうな豪奢な生活をやつて居ますが暫くたつこパン代の

◈一留を貸して

呉れこ相談に來る始末、これは一般の露人が皆同じ性質を有つて居ります現に浦鹽の大百貨店クンスト、アリベスなごでも露人に農具を賣るのに何年こいふ年賦で貸つて收穫物で回收するこいふ方法をこつて居ますが露人は値段の高下よりも新しい農具を使ふこいふとが嬉しくて仕方がないこいふ風に見ゑます、それで金融の巧な猶太人は露國の心臟にまで喰ひ込んで居ります、此の方面でも資産家は多く哈爾賓に居る猶太人が多いやうです、露人はまた大まかで大國民的なところがあります、現に浦鹽の日本領事館は一生を露西亞で過ごしたこいふ野村領事の設計になつたものですが最初外務省に設計書を出すこ本省では

◈壁の厚さ四尺

こいふのが腑に落ちぬのでそんな城塞を築かずこも少し上品で綺麗なものに建てはごんなものかこ注意して來ましたこころが野村氏はそんなとをしては露人に氣恥かしいこ返辭したともありました、私なごもこれまで何度軍事探偵の嫌疑を受けたか知れません、説敎のチラシを配りた行けば捕へられ丘に上つては縛られ毎々の事で『また來たか』こ露警署長などは『呆つて呉れたものでした……』こ師のはなしはそんな方面に移展した猶師は朝鮮の佛像をはじめ支那の古書籍などを集めてゐられた、先日北京で傅山の書を有賀氏にすゝめて買はせたことなごを語つて此の方面にも

◈一隻眼を供へ

て居られるやうであつた、其處へハバロフスクの避難民を收容する準備だのブラゴエ、ハバロフスク出張所をごうするこいふ相談なごがあつてお寺も却々忙がしくなつた、御堂には讀經の聲に浦鹽の善男善女が澤山參詣して居た、表の窓附にはイルクウツク、チタ、ウエルフネウヂンスク方面の名前を見ゐた（浦鹽にて金生）

◎衆議院の慰問使

廿三日宇品から西伯利亞へ

衆議院各派の出征軍慰問使は望月圭介氏（政友）を團長こして田中善立（憲政）、瑞川義儀（國民）佐々木平次郎（新政）石原正太郎（無所屬）の五氏に決定したるが一行は二十三日宇品より浦鹽に直航しハバロフスク、ニコリスク、哈爾賓を經て滿洲里又は齊々哈爾に至り更に哈爾賓に引返し此處にて解散し朝鮮經由歸……

◎內務省の各團體調査

利用の前提

內務省にては曩に運動の有力なる一團たらしむべく地方青年團の指導利用方法を講ずるこ同時に在郷軍人團及び婦人團等の指導利用方法を講ずべく先般來調査中の處此程了したるが右調査に依れば全國各團體の現狀大要左の如し（東京特電）

▽在郷軍人團 支部九十八、分會數一萬三千四百、會員數二百五十萬人

▽青年團體 一萬三千、會員數三百三十七萬五千人

▽婦人團體 八萬八千五十、會員數百四十萬九千六百五十人

◎動員地方の軍人救濟

內務省吏の派遣

內務省にては動員下に於ける軍人家族救濟の指導を從ひ實況視察こして福岡、大分、山口三縣に吏員を派したるが近く愛知、岐阜、三重三縣にも派遣する由內務大臣の訓請に基づき相當の救護費を增額する由なり（東京特電）

◎露人俘虜

多分來らず

運輸部門出張所長谷田少佐は語る「我が運輸部は軍隊は勿論其他の軍需品等の總てを取扱ふ要る戰時の今日に於ては參謀本部こか兵站部こか彈藥、糧食部こいふが如く

◇大々分業的

に組織されて居れば一絲亂れず敏捷且つ迅速に處理されつゝあり今回戰地に於て露軍の俘虜こなりたる者が內地へ護送さるゝが如き場合は無論我運輸部に於いて取扱はざる可らざるもウォーゼムスカヤ附近戰鬪及びハバロフスクに於る俘虜の數多至つて少數なるにより今次の戰爭に於ては俘虜は或は

◇護送し來ら

ざるべきか俘虜こいふも露人なれば彼等は日本に來て種々複雜なる方法あるべけれど態々內地送り出す必要はなかるべし併し獨墺俘虜は又別なるにより他に方法を講ぜらるべきか」（同上）

◎イ市投獄者

村岡氏歸る

前後の狀況

イルクツクにて投獄されたる村岡彥藏氏は十五日哈爾賓に着せるが氏は語つて曰く四月十四日南氏等こ共にイルクックに到着しメウリヤミ稱する一旅宿に投宿せるに旅裝を解く暇も無く過激派官憲の爲め捕縛投獄されたり監獄內には百八名の死刑囚あり中學生數名は杉野副領事の盡力にて放免されたる爲め我等は事の經過を欣喜し居れり（哈爾賓）

◎第三師團隷下の〇〇部北行

見送り盛ん

第三師團隷下の第〇〇〇〇〇部は十〇日午後七時官民數千の盛んなる見送りを受け萬歲裡に北行せり（釜山特電）

◎羅南の應召兵

十六羅南に入營すべき演習召集者は將校以下々士卒合せて二百四十六名なり（羅南電報）

◎元山の貼紙犯人!!!

四名處罰さる

九月三日午前七時頃旣報の如く元山町三丁目岡下宿、飯室及……日常次郎（三）の四名を嫌疑者こして引致元山署に於て取調中の處九月五日渡邊は拘留二十日吉田は拘留二十日森安は拘留二十日谷口は拘留十日に處せられたり

◎大雪

十五日夜寧津の西方に見ゆる南雪嶺一帶に大降雪あり白皚々こして冬景色に薪れり（清津特電）

◎赤痢患者

京城府內に於ては目下一日五六名の赤痢患者發生しつゝあるやにて府廳に於ては嚴重調査し尚一般豫防策を講じつゝあるが例年に比しては極めて僅少の方なりこ

□戰線へ（三）

從軍記者 金谷眞

◇興凱湖に近きスパスカヤの驛について其處で一晩泊つた後翌朝更に北行した、汽車の裡には避難民の避難民が日本軍隊から貰つた紙片を以てドヤ／＼こ便乘した。何れも日本軍隊から貰つた紙片を持つて居る、右手に左右の原は黒い森林の山影が見ゆて居る、ジメ／＼した濕地、是では日本軍はさぞ行軍に困難したらうと歎の街でなら時に沿線には家があるが何れも粗末な檜や白樺の防寒林を造り丸太の木造りの小舍に窓をあけて中からは更紗の頭巾りした女が顏を出す。家鴨、鵞鳥が遊び黄い向日葵の花が咲いて見られる

◇スウヤギナの驛には午前九時頃着いた、此處には大きな製材所があるなる程東方に見ゆる黒い森中に行けば材木はいくらでもあるであらう、驛は……

◇貨物列車中の露兵

により廣い野原の中に十餘あまりの家があるに過ぎなかつたが列車は暫……英米、チェックも澤山來て居る、軍司令部の澤山少時も下車して何かいろ／＼協議して居たが矢りそんな用向であらう、中には戰爭となると商賣柄の……を南へ向けろ軍隊もあるとかで日本兵……

などは不思議に思はれる……

◇驛の附近には山のやうな軍需品と露……の天幕、恰度芽出度い天長節さいふので何處にも日の丸が翻つてゐる、天幕で兵士の山を成してゐるからあれから見れば一同に佳節のお祝ひを分配する處であつたミエンか、此の水筒にサケ四合を渡すからこれを八人で飲め、次に菓お二ツ九匁、ほまれ（煙草）十六本を渡す」兵隊さんは何れも大ニコ／＼、戰地では唯だ喰ふことと眠ることより外に考へる者はない、興凱湖の坊ちやんが共處にも此處にも……

◇正午ホデワスコエの驛を過ぎる。忘れられぬ印象は敵の戰跡を過ぎる。敵の生首、火那のあの踏しだきたる秋草、それに西田中尉が裝甲列車と奮戰した跡！

◇クラエフスキー驛に着いた時やうやう鄕を偲れて來た露人の家族が過激派に荒された家財を共な取方々るのが可愛さうだつた、暗きの苦悩を悲た彼からものを拾つて來て……

『マアー臆いことする人達だ』といつたやうな表情をしてゐるのも見ゐる。それに對しても……の親父は親父で……の下に匿して匿いた……ブカ／＼煙を吹いてゐる、施療院の坊さん達もたいぶ乘つた、兵士は防寒面を被つて寢てゐる、故と蠅がワン／＼とやつて來る。向うの原に破壊された機關銃がころんで居る

◇ペエラヤ河の鐵橋は破壊された……を見ると私橋はすつかり破壊されて目茶々々だが早速わが軍が新らしい架柱を……してゐる、自分等の列車は今日初めて此の橋の渡り初めをやることとなつた

『ペエラヤなんて偉さうなことを言ふ河は全體何處に流れてるんだい』など……近は蘆や雜草の繁りばかりホテりには大きな眼や蟹が居て架橋の工兵に喰ひつくさいふはなし、蚊の連中もこれを聞きつけブン／＼ブン／＼する、此處の蚊は莫迦に痛い（ジャブカにて）

◎十五日の施米

京城救濟會に於ける赤貧者救助狀況は左の如くにて十五日及び石高內人側に於て米五升粟五升施與戶數一戶に人にして新入側に於て米一斗粟一斗施與戶數二戶七人に施與せり而して施米開始の初めよりの累計額に就いて見れば內鮮人合計施米石數七十四石三斗四升にして……戶數一千七百八十二戶 四千六百三十五名に及べりこ

◎犲害

八月二十日午後十時頃……北道……郡內……李氏（四三）は自宅……一頭の犲……咬み付かれ……病院に入院加療中

▲同月二十三日午後五時半頃……道……郡……面……李女（七）は自宅……遊戲中突然路傍の粟畑より一頭のヌクテ躍り出で咬み付たる……約一丁程……其場に於て……咬殺されたり

◎胴卷から夥しき金塊

支那人密輸出を企て、處罰さる

支那山東省萊州府生れ北青郡邑內居住雜貨商高亭彥（三）同登州府生れの靴商楊德林（三）萊州府生れの農李明財（三）直隸省生れの店員高成元（三）の四名は本月七日仁川より歸國せんこ正午頃同地發の第二十一共同丸に乘込みたるが擧動怪しき廉ありたる仁川署の警官は稅關吏こ協力して彼等の所持品を檢査せしに何れも帶の如き長き片を胴卷こし居り高亭彥の胴卷より金塊七百三十八匁（三千圓以上）現はれ他の三名よりも二三百匁宛を發見したれば直ちに引致し取調の結果密輸出を企てたることを判明せしより件の金塊は其後任意鮮地內にて賣却せしめしが取締規則に依り仁川署は四名に對し罰金二十圓乃至五十圓の即決處分に附して放逐したりこ

◎猛獸畑を荒す

……管內……面……川洞大……驛站及び小嶺站の山中には猪群並に熊多數棲息せるが八月十九日頃より谷間の畑地に猪群數十頭出沒し粟及び豆、蜀黍等の畑作物を食ひ荒らし猪被害粟及び玉蜀黍七千五百坪見積價格二百五十圓、及び熊被害一萬四千八百坪四百四十圓の被害ありたりこ

◎兩博士講演會

東京帝國大學文科大學敎授文學博士萩野由之、同田中義成兩氏鮮滿支那巡遊の途入京目下滯在中を機とし左記に依り講演會を開催し兩博士の講演を請ふ事と相成候間一般の御來聽を希望致し候

日時 九月十九日午後四時十分

場所 南山町京城高等女學校講堂

演題 兩博士共未定（確定次第更に社告致す可く候）

主催 朝鮮敎育研究會 朝鮮新聞社 京城日報社

◎爆發も海嘯も

大地震に起因する

今村理學博士談

得撫島に於ける海嘯こ爆發について今村理學博士は語つて曰く海嘯の起つたこ云ふのは八日の午前二時十七分東京より東北約三百里の太平洋海底に起つた

▽斷層に基く

世界的の大地震に起因するものこ思ふ震源地は得撫島よりすれば南方約四五十里より百里迄の間に在るのであるから銚子では午前五時半に何れも海嘯を起したと云ふ事實より察すると八丈島では時刻も恰度同じ……するし又得撫島には硫黃山、指鉢山其他

▽四五の火山

がある何れも北海岸に沿うて臚列し若し海嘯が火山の爆發に基づくものこすれば此方面の海岸に起るのが先づ當然であるのに却つて火山の無い東海岸に起つたこ云ふのであるから徐々此の觀……が有力こなつて來る電文には白紗山方面（中央北部）に爆發があつたさあるが

▽果して爆發

があつたか何うか又夫が果して白妙山の爆發であるか何うか夫とも他の火山の爆發したものか之は今少し詳しい報告に接しなければ何こも言ふ事は出來ないが大地震は往々噴火を誘發するものであるから若し爆發があつた物こすれば之も矢張り例の地震に起因するものこ見て然るべきである

◎京管局寄附

▽……木浦、群山の兩救濟會へ

滿鐵京城管理局にては曩に京城仁川淸津の各地救濟會へ夫々寄附したるに準じ今回更に木浦救濟會へ五百圓群山救濟會へ金百圓何れも寄附をなしたりこ

讀者文藝（一等には五十錢の切手を贈呈致します）

▲下句付『秋の風』

◎秋の風勇士の墓標二つ三つ（一等） 飛二郎 キノ字

▲吹いて征途の寶錢かし 仁川 凸チャン

▲資金送うつ秋津洲 京義線 曲 浦 生

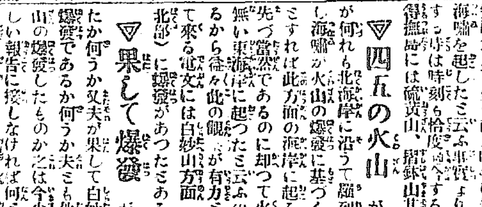
▲オナならればいしがり 京城 小 公 子

▲路行く武者の上を吹く 安州 霞 六 庵

▲病兒の眉の動きけり 京城 蓬萊町人

▲捨てられて居る胡弓 京城 丟 舟

◇發表後一週間以內に剽竊又は同……◇俳句付『心苦しきものは』（二十八日）……『吳服屋さかけて』二十一日……『一日斷時事』廿二日……『うれしさた』廿三日……發表者には五十錢切手券を呈す但何書何號こ明記に限る◇宛名は京城日報編輯局讀者文藝係



天幕雨覆日覆製造販賣 並ニテント貸付 矢野テント商會 大阪西區長堀 電話西長一五六三 一〇五三

夏冬 洋服 小倉服 絨服 軍隊拂下品一式 和洋古中衣服類一式 新調洋服類 鐵道局拂下品販賣 外毛皮胴着外套チョッキ各種多數 有多少に不拘御用命被下度候 龍山元町二丁目 電話一〇五番 官衙拂下品商 金子商店 振替口座京城三八二

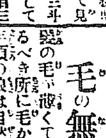
御旅館 朝日館 京城本町通り

月やく 月やくの過ぎ又は不順のため何をなくなり病工合悪くし種の方は幾度用ひてもチカラ治す、私方へ返信料を添へ御相談あれば數ある中でも一番おだやかで……藥を御助言するために御知らせします

親切にお相談 東京四谷信濃町停留場前 大阪北區曽根崎上壹丁目 森田屋

毛判 京城明治町 岩崎商會

美人の煩悶 毛の無いのが原因 髮の毛が薄くて見苦しかつたり有るべき所に毛が無かつたりするこ年頃の娘は自然憂鬱になつて嫁入り話も嫌がるは同情に堪へざる所なるが是迄のありふれた藥こ違ひ最近に實地に黑い毛の生ゐる人助けの奇藥が創製せられ眉毛薄く生ゐ際悪く禿頭の惱めの悉く毛・睫毛・鬚毛、有るべき所に毛の無い男女は皆驚く以上の結果に喜びつゝあり、此奇藥は一婦人が苦身の上の恥かしさ悲しさに思を焦して遂に苦心創製し思ひ通りに毛が生ゐた實驗に基く者にて希望者は東京市京橋區南鍋町美容院こりす子へ宛てハガキで問合はさるれば人助けの爲め自分の秘法を打明け詳しく通知する由



心臟病 しんぞう 心臟病に苦しむ人こに又ない秘傳を書き…… 報す 拓殖 石東魚町 多田……

中風病 全治謝 余は元大阪府敎員なるが數年前中風に罹り諸藥効なく到底不治の病こ斷念せしに不圖兵庫縣明石町加古忠兵衛氏發見に係る靈藥の卓効に依り全治の幸福を得たり依つて同氏の無代頒布の希望に依り同病者は此廣告切抜を添へ直接加古氏へ照會あれ 大阪市東區森之宮西の町

最新 拓殖局 兒玉藤將軍 支那語會話 朝鮮語の先生 戒史美談 心の修養 自學主義各科教授原論 諧曲の先生 主婦の算術 遞信地圖 巡遊旅役者の手記 口譯宇治拾遺物語 太閤 非小說

京城本町 大阪屋

わきが 特効藥ファーザー 京城黃金町三 山田文錦堂 六十錢 一圓 電話二九〇九番

高貴藥配合 最新良劑 くだり止

高橋盛大堂藥局試驗部創製 清腸（セイチヨー）

主効 ●腸加答兒 ●痢病 ●裏急後重 ●瀉冷 ●水 其他諸病より起る一切の下痢に用ひて大効あり

價 拾錢●貳拾錢●五拾錢●壹圓

本舖 大阪市堂島元濱 高橋盛大堂

●到る處の藥店に販賣す

妻の心(九十五)

十五の八 小林鶯月作 武內桂舟畫

『まツ、阿母さまは、ごツ、什うしてそんな事御存じなんで……。』と喜久子は、只々呆氣に取られて母の顔をぱちくりと視て居る。

『だから、天眼通だと斷つといたぢやありませんか。まだそれのみではありません。勵子とやら若龍とやら云ふ藝妓上りの碌でなしが、何か久さんと出先で口喧嘩を爲た揚句、お然らばを極めて了つた事も、精く妾は知つて居るんですよ。お前さん、誇いやうだが、もう〳〵お前が、何と飾り立ちお爲でも久さんの爲に歸嫁を爲る餘地は、兎の毛ほども有りや爲ないんですからね……。』と、喜久子は、手首の珠數をば、故意見せ付けるやうに爪先に捻くり〳〵、

『夫婦になつて居ねばならぬと云ふ理屈は、尚更有りや爲ません。此處へ行くとお前、櫻井の順さんを御覧なさい。心から底から、町川家の爲めを思ひ、お前の將來を心配して、本統に夜も碌々寢ない位に骨を折つて呉れてるんですから、久さんなんかに比べたら、月と鼈、雪と炭の相違ですよ。殊にお前とは、骨肉の從兄妹同士でもあるしするから、何から何まで這麼都合の好い事はありや爲ませんやね。』

禮子さへ、うむと云へば、今此處でも、櫻井の順吉郎を呼び寄せて、內祝言の杯でも爲せかねまじき喜久子の云ひ草である。禮子は、口惜しさ忌ま〳〵しさ、一

『ほ、ほ、ほ、禮さん、それがお前の世間不知と云ふものですよ。成程そりや、法律とやら戸籍の規則とやら云ふ小むづかしいものから云つたら、お前の云ふ通りに違ひないけれども、お前の母見方さへちやんと根締が定つて、櫻井の順さんを改めて婿養子に入れる決心があるなら、久さんとの關係を絶つのは何の雜作もないです。』

『何の雜作もないと仰被いますのは……?一體阿母さま、什う爲れば宜しいんです。』

『お前、七月二日の土曜日の晩の約束は、豈や忘れや爲ますまいね。』と、繼ぎ而す。

云はるゝまでもなく、那の論結は、無論此處へ落ち來るに違ひないと、禮子は、先刻からもうはら〳〵と爲て居た處である。

『阿母さま、決して忘れは致しません。』

『ほ、ほ、ほ、決して忘れや爲ないとお云ひかね。それでこそ、妾の腹を痛めた寶の子です。』と喜久子は打つて變つたやうに嬉しげな笑ひを浮かべて、

『本統にお前、町川家の爲めには換へられない大切の〳〵踏切期所ですよ。俗に云ふ背に腹は換へがたしでね、そりやお前と云ふ一人の上から云つたら、久さんは二世を誓つた良人に違ひないけれども、何ぼ二世を誓はうが三世を誓はうが、先方から秋風の立つて居る男の爲めに、一生涯の義理を强すべき筈もなからうし、此の町川家の

間には又甚だしき莫迦らしさも感じて居るので、極度の悲愁と苦惱との中にも、一種云ふ可らざる滑稽さを覺ねた。彼の女は、證事なしに、うすら笑ひを片頬に漏らして、

『阿母樣、そりや貴女の被仰るまでもなく、櫻井の順さんは、結構な御親切な方に違ひありませんし、又七月二日の土曜日の晩に、阿母さまと堅くお約束しました語も、決して……決して忘れは致しませんけれども只今の所では、何と申しても、まだ久三郎樣と云ふ良人のある妾で御座いますから、久三郎樣と此の町川家との關係が一切立派に斷絶された曉でなくては汚濁に此方の勝手ばかりも計つて物事を取急ぐ譯には參りかねますでせう。』

京染呉服 永樂町二丁目 京たまや出張店 電話一九八

人蔘エキス 京城本町壹丁目 電話一四八〇番 一八七〇番 津村兄弟商會

怎麼に母親の權利であつても、一方との關係を立派に斷絶しない以前に、他の婿養子を迎び入れるなどは、到底爲し得らるべき筈がないものであると、禮子は平素から堅く心に信じて居るので、故意と試しがてらに問ひ返して見たのである。

と、喜久子は、何處までも無雜作らしい平氣極まつた調子で、

『なアに、お前、少しも懸念する事はありや爲ませんよ。』と云ひつつさらりと珠數を疊へ投げ出したが何思ひけん、つと起ち上つて禮子の側らにあつた机の上の硯と状紙とを忙しさうに取り卸した。

子規忌俳三昧(第一夜)

狹庭べの萩のしだり枝花は咲けどむかしのひとの家にらすも

子規居士の短冊の軸がかゝり、榻と源氏の首つぎが活かつてゐる、不考郎寄贈の梨が盆にもられた。鳥究居の夜は靜かに更ける。

『秋日』

○ 浮碧樓
秋日なか倉莫機の脚つよく据はれり
秋の日の銅像の柵にかまつて疲れを知らず

○ 芹郎
秋の日のこの山影を出づる能はざりし
秋日なきの獸醫の俥に乘るを見た

○ 清耳樓
秋の日提が大きく逢ひしを悔る
後から背を叩いて街中秋日が赤く

○ 夷敏
日歸りの私が坂を下るので秋日が落ちた
秋日が一日といつもの日が暮れる

○ 阿畝良
秋日の砂濱に立ち嘘を言ふもので
單衣で暮す秋日の片手がくさく

○ 鳥堂
其頭を剃みなす秋日を見るべし
秋日の驢馬の食膨れが戻つて來た

―九月十四日―

日報俳壇

灯の下にて(放虫居にて)

鴫原
よく啼く蟲の一つ居て夜を深めたり
日に物が伏せてあり土間の蟲鳴く
蟲の鳴く闇に居て星が流れたり
ひそけき虫に目覺めたる病人の晝
虫にひそけく閉ぢてあり三日月の門
御堂淋しう灯されてそこら虫音ある
めうこの遍路休み居て御堂虫鳴き
牛車おかれたる廣場に虫鳴き
朝日しらしら虫の野を行けり
つみびこ引く行く巡査虫の野中を

○ 兎國
氷癡に眼覺めて蠶の虫が淋し
朝の街に虫が鳴く一人旅にて
讀み耽る灯に來て羽を鳴らす虫
草の徑に月更けて虫に立つ二人

日報歌壇

中洞へば淋しさに澄む灯影あり

○ 芳宙
山路らき障子に汐が滿へ來し
荷卸されし牛がゐて闇の山路める
海の入陽が土堤染めて虫が鳴き出る

○新月 貝谷砂丘
新月のひかり冷たくながれたる捨石に腰をおろしたろかも
いづこやらむ故郷に似てなつかしき虫鳴きひそむこの夜庭に
丘にして月の下びに白揚げる餅人の杵音かすけくはさく
使葉のさもしき灯影こゝにして見つゝしみ〳〵と歎けかりけり
門下の井戸にほの〳〵と月あかくそこに水汲む餅人の宿す母をおもひて

百合
門息をあまたおくりてたらちねに歎きづくろはたぬがてぬかも
子のうたへる人ト見わけ母なれどいさなみ詫ふよのかぬるまで老いませしかな
何ぶのなすなくて病みして思ひ一つに身は衰へつ

旅野素月
二十年はげに辛かりき弱き身さよわき子がもてわましつゝ北京まで
空のもとにして秋さは別れたろかなあはれなる長ぞさ長くたれさげしチヤンのあたまながめてゐるも
つれて來し蜩蘭も珠數なつまくりついさもせんれんオンマニハタメシ
おなじ世の月日のもとに生れつゝ別れゆくもの心がなしも
湯上のかろき心に茶いあぢをあぢはふ
ほどに人の戀しき人が死にゆくとしも知らぬがに屆かぬなかぎりに庭のこほろぎ
この日の暮りのさかりの街中を馬車にゆられてゆけばさびしも ―旅信―

新刊紹介(到着順)

▲講談倶樂部(十月號) 第十卷の諸小說、落語を滿載し讀者文藝及び懸賞募集あり(四十錢東京市本郷區駒込坂下町四八講談社發行)
▲ツーリスト(六の五) 旅行と消暑、秋月旅を憶ふ、泰山と曲阜、滿蒙一瞥、英文の可除越ゆ、生花、釣の話、觀月等(非賣品、東京驛內ジャパン、ツーリスト、ビューロー)
▲赤い鳥(十月號) 童話、謠等で通る、お祭、憲法の魚、泉の水、鷹島、龍のほりもの、黃金の鳥、蟋の御殿、大將の子さ巡査の子其他(十八錢、東京北豐島郡高田村五五九其社)
▲朝鮮彙報(九月號) 二十五錢、朝鮮總督府發行
▲獨逸語青年 九月號 二十錢、東京本所龍岡町三四其社
▲教育時論(千二百二號) 十二錢、東京麴町飯田町四開發社
▲石油時報 九月號 十八錢、東京麻布龍土町六三其社
▲農業雜誌(九月號) 十錢、東京麻布本村町二一一學農社
▲柔道(九月號) 二十錢、東京小石川大塚坂下町百十四柔道會本部
▲人格と幸福 六の九 九錢、京都萬壽寺小路明治修養會
▲婦人週報 四の三五 五錢、東京牛込市ケ谷町二の一六其社
▲エハガキ(十月號) 十一錢、東京牛込甲良町二三東京出版社
▲判例公論(一の七) 二十五錢、東京下谷仲御徒町三の一六帝國判例公論社
▲經濟資料(四の九) 二十五錢、東京麴町有樂町一の一東亞經濟調査會
▲東亞之光(一三ノ九) 二十六錢、東京小石川茗荷谷町七八東亞協會
▲人文(三ノ九) 十六錢、東京小石川白山御殿町一一七人文會事務所
▲趣味之友 九月號 二十五錢、東京麻布竹谷町一八〇其社
▲東洋皮革新誌(一ノ六五) 十錢、大阪市西區內淡路町二ノ七七其社
▲正則中學講義錄(五號) 東京神田駿河臺袋町八日本國民中學會
▲農業世界(九月號) 農家好參考雜誌 二十錢、東京日本橋本石町三博文館

讀者の領分

▲私、消防設備が近來完備して來たので、モウ大火事などは滅多に見られぬ者と思つてゐたが十五日の夜の永樂町の大火の凄じさは見るに耐へなかつた、火事を起す原因は一寸した不注意からであるからお互ひに用心して一般社會に迷惑を掛けぬ樣にせねばならぬことゝ淡々思ひます(商か生)

▲夕方から永樂町を散歩すると馬鹿に勢込んで走る人力車に小供迎ひなどがいつもはらはらさせる、運轉手の奴に限つて乘客が彼なるを見ては一層猛た、彼等には取締規則にでも掛けむる規則にせねばならぬ、當局者の猛省を望む(或讀者)

公私衛生(五)

注意の不注意

短野生

便所について

家主は必ず塵芥箱を備へ附くべきである是は規則上の義務であるのみならず本來借家人なるものは官公吏にせよ銀行會社員にせよ職人にせよ性質上同一の家へ永住し得べきものでない轉宅に際し一々箱を引越荷物として汽車や汽船で運搬し切れぬ限り可成金を懸けて作り得ぬは、卽である家主は當然完全なる箱を家の從物として備へ附くべき義務と責任が有る家主にして應ぜぬ者あらば

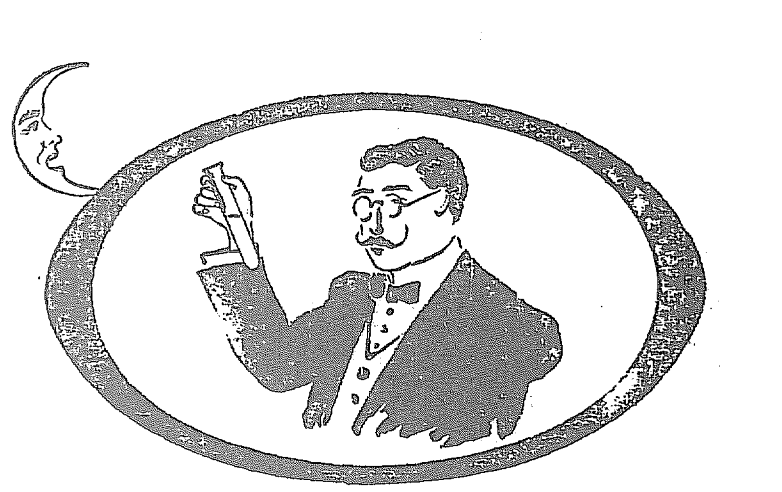
▲警察へ申告して處罰なり說諭なり請ふがよい掃くは穢すから生ずるのである穢さぬ要は穢すから生ずるのである穢さぬたら掃くべきであるが先づ穢さぬここに心懸けたい殊に道路下水の不潔は市民一般の注意如何によつて或程度迄防ぐことは容易である所在の商店や辻賣で庭瓜の皮や柿の栗の皮を遠慮なく投げたり工事作業の屑物を道路に掃き捨たり運送屋が荷造りの屑物を道路に散亂させたり限りなき是等の不都合を絕對に止めねばならぬ而も是が掃除費は皆市民の膏血を絞つた税金から出るではないか仰向いて唾を吐く樣な愚を演み度い理屈ではない少しの注意と習慣の一つで必ずや結果が得られるのである便所の尿屍池は陶器又は浸透質の材料を以て構造すべき規則であるが冬季凍結の爲め龜裂を生じ又は崩壞せるものが中々少くない爲めに汚液浸潤し邸宅を穢し

▲井戸を不潔にし病毒を散漫するなど直接間接の害毒を流しつゝある是は勿論建築規則其他の違反であつて一日も忽諸にすることを許さぬ居住者は家主に交渉し落々改造を急ぐべきである殊に冬になつたらコンクリト作業は全然不可能になる斯樣な必要箇所に關する修理は家主に於て應諾せぬならば自ら營みて家賃から差引くも一方法である固より適法な措方である

○米價根據是非

▲調節 物價の調節を人爲的に行ふべき適當の時期を認識す……ることも又容易ならず固より現時の如き非常時に於ての……吊上策を講ずるは米を生産する多數の農民は喜ぶべく米價暴騰に關するの事に關する比較的權利に……之が吊下げを行へば多數の……は甘んずる米價……非常時……も亦無視する能はざるなり

▲黃金 八千萬圓の豫算にて……萬能主義に囚はれたる偏見ならず……んばあらず稻作は天候に待つ處多……し凶歳には消費を……



千萬言の

說明を聽くよりは、此の一管の實驗を御覧なさい

品質本位

花王石鹸は

斯の如く純良無上の品質なる故に絕えず帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院等の採用品となり化粧衛生の第一品として滿天下に賞讚を博するのです

石鹸試驗法

石鹸を些し削つて試驗管に入れ之にアルコールを注ぎ好く振り混ぜて火に炙れば純良の石鹸は透明となる。若し混合物があれば比較し濁り脂肪があれば酒精が見ゆる。又遊離アルカリを含むものは此の液にフェノールフタレイン一滴を點せば赤色に變ずる。

長瀬商會 大崎組商會